

明治二十年二月七日書冊 2707

今田昂德烈譯



聖略傳

明治十八年七月 正教會



諸聖略傳第四卷目錄

四月之部

- 一日 聖サウワノ首堂ニ於テ「サライソ」
人ニ殺害セラレシ成徳ナルイオ
アン、セルギイ、パトリキイ及ビ其
他ノ人々ノ苦難
- 二 表信者聖イヤコフノ紀念
- 三 アンキラノ司祭神品致命者聖ワ
シリイノ畧傳
- 四 聖致命者ニコソノ傳及ヒ其弟

一 四 同

子百九十九人ノ苦難

五

同

ベチエルスクノ成徳者ニコン及

ヒ聖致命者フリト其妻リデヤ及

ヒ其嬰兒ノ紀念

十六

五

セレウキヤ城ノ主教聖アルテモ

ンノ紀念

十七

六

至聖ナル永貞處女神母マリヤ福

音ノ祭

同

同

シルミヤノ主教神品致命者聖イ

リチイノ苦難

同

七

聖使役首ガウリイルノ會

廿三

八

フエツサロニカノ聖致命女マトロ

ナノ紀念

廿七

九

ベチエルスク修道院ノ掌院成徳ナ

ルイラリオソノ紀念

卅二

十

アレフザノ主教聖マルクノ苦難

同

十一

我等ノ父成徳ナルイオアンレス

トツイナニクノ紀念

卅六

十二

ガクルノ主教聖イバタイノ紀念

四十

同

全ロシヤノ府主教聖イオナノ逝

去ノ日

同

同 聖ナル義人美善ナルイオシフノ
傳

同

十三 エギペトノ聖女マリヤノ傳

七十

十四 奇蹟行爲者成徳ナルテイトノ紀
念

九十一

同 聖致命者アムフィアン及ヒエテシ
イノ紀念

九十二

十五 ウイフニヤ城ミデキイ修道院ノ院
長聖ニキタノ紀念

九十五

十六 讚美歌ノ作者歌人成徳ナルイオ
シフノ傳

九十六

同 聖ツシマノ紀念

百六

十七 聖致命者輔祭アガフォボード及ヒ
讀經者フエオトルノ苦難

同

十八 コンスタンティノールポリ城ノ總主
教エウテヒイノ紀念

百廿三

十九 ミテイレナノ主教表信者成徳ナル
ゲオルギイノ紀念

百廿四

同 聖致命者カルリオピイノ苦難

同

廿 七十聖使徒イロデオ、アガウ、ル
フ、アシンクリト、フレゴント及ヒ
エルミイノ紀念 百廿九

廿一 聖致命者エウアシヒイノ苦難 百卅二

同 ペルシヤノ學院成徳ナル神品致
命者ワデムノ紀念 百卅四

廿二 諸聖致命者テレンテイ、アフリカ
ン、マクシム、ボムペイ、ジノン、アレ
キサンドル、フェオドル及ヒ其他ノ
苦難 同

廿三 ベルガムノ主教神品致命者聖ア
ンテイパノ苦難 百四十

廿四 成徳ナル女修院長アフアシヤノ
傳 百四十五

同 バリヤノ主教聖ワシリイノ紀念 百五十四

廿五 ラオデイキヤノ司祭ナル神品致命
者聖アルテモンノ紀念 同

廿六 ワリナニ於テ苦難ヲ受ケシ聖致
命者イオアン、アントニイ及ヒエ
ウスタフィイノ紀念 同

同	ロマ城ノ「パーパ」マルティンノ紀念	百六十四
廿七	ゴトノ致命者聖サウワノ苦難	百六十五
同	聖七十使徒ノ中アリストタルフ、 ト及ヒトロヒムノ紀念	百七十二
廿八	聖致命者アガヒヤ、 ビオニヤ及ヒ イリナノ苦難	同
同	聖致命者レオニードノ紀念	百八十一
廿九	ソロワエナノ奇蹟行爲者聖サウワ テイイ及ヒゾシマノ紀念	
同	ペルシヤノ主教神品致命者聖シ	

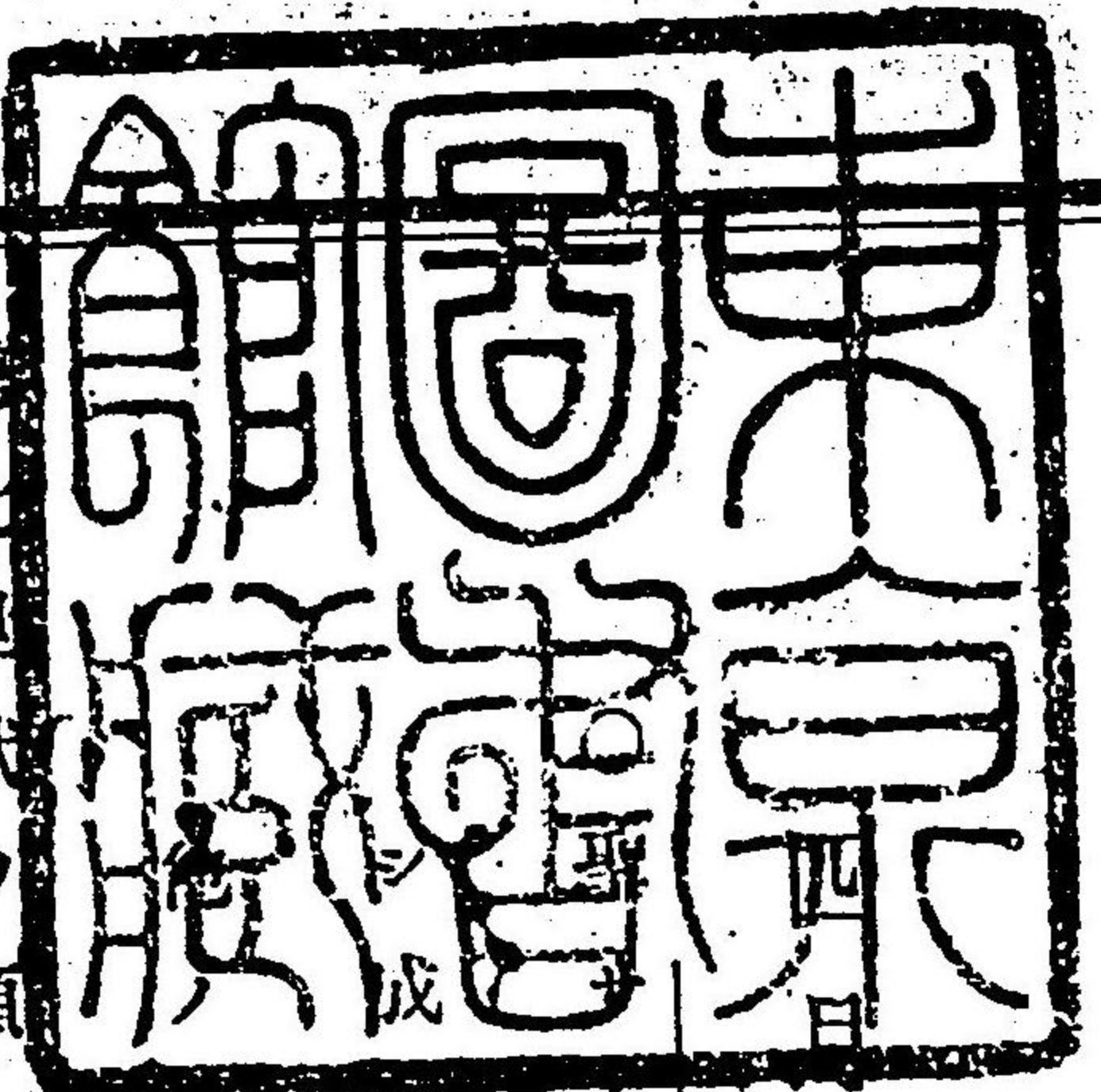
	メオンノ苦難	百九十六
	三十聖致命者新イオアンノ紀念	二百七
同	成徳ナルイオアンノ紀念	二百十三

四月之部目錄終

諸聖略傳第四卷

墨斯科巴弗米帖瓦編輯

仙臺 今田昂德烈 譯



之日部

ウツノ首堂ニ於テ「サラチン」人ニ殺害セラレ
成徳ナルイオアン、セルギイ、パトリキイ及ヒ其
人々ノ苦難一日

第七世代ノ頃ヨリイエルサリム城ノ近傍ハ屢々野蕃ナル

「サラチン」人ニ劫奪セラレシカ其餘纏ハ此ノ世ノ富貴ヲ願
ミズ清貧ニ安シ身ニ一錢ノ貯モナキ温良ナル諸隠士ノ

棲居セシ修道院ニモ波及シテ慘然タル劫奪ヲ免ル能ハザ
リキ一日聖枝ノ主日ニ聖サウワノ首堂ニ公祈禱ヲ行フ時
「サラチン」人大衆ヲ率キテ將ニ修道院ヲ侵サントスト告ル
者アリケレハ諸隱士ハ心ヲ決シテ首堂ヲ守リ神ノ聖旨ニ
任セントシ且此ノ人々ハ現世ニ在ルモ現世ノ爲ニハ既ニ
肉体ヲ殺セシ者ナレハ死ヲ懼レズ熱切ニ祈禱シテ光明ナ
ル生命ニ移ルノ準備ヲナセリ既ニシテ大水曜日ニ蕃民大
軍ヲ率キテ修道院ニ乱入シ修士數人ヲ殺害シ直ニ進ンテ
聖堂ニ入り修道院ノ寶物ヲ藏ムル所ヲ詰問シ且曰ク爾等
四百金ヲ我等ニ與ヘナハ聖堂ヲ毀タズ且爾等ノ生命ヲ宥

ムベシ然ラズンハ悉ク爾等ヲ殺害セントト修士答テ曰ク徒
ニ我等ノ血ヲ流ス勿レ吾等如何ニシテ是ノ如キ大金ヲ貯
フルヲ得ンヤ我等今唯一ノ弊衣アルノミ爾等欲スレハ之
ヲ取レ其他ハ一物モ得ル能ハスト蕃民此ノ言ヲ信セズ
酷ク拷問ヲ爲シカメテ其實ヲ得ントセリ院中ニ開祖聖サ
ウワカ會テ道ヲ修メシ洞窟アリ蕃民ハ隱士ヲ驅リテ其中
ニ入ラシメ而シテ薪ヲ洞口ニ積ミテ火ヲ放チケレハ隱士等
火烟ニ咽ビテ大ニ苦シメリ蕃民ハ猶ホ寶物ヲ藏ムル所ヲ
問フテ止マザレハ隱士ノ之ニ答フル聲ヲ聞カズ唯火烟
ノ中ニ在リテ神ニ祈ルノ聲ヲ聞クノミ此ノ如クニノ修士

八十八人皆遂ニ洞中ニ死シ其他所ニ在ル者モ或ハ刎首セラレ或ハ鞭撻セラレテ死シタリイオアン、セルギイ及ヒバトリキイノ外ハ其名詳カナラザレモ聖教會ニテハ「サラチン」人ヨリ殺害セラレシ諸隱士ヲ記憶シ四月一日ニ其ノ紀念祭ヲ行ヘリ

○二日

此ノ日斥像者ヨリ窘逐セラレシ表信者聖イヤコフノ紀念祭ヲ行ヘリ

○三日

アンキラノ司祭、神品、致命者聖ワシリイハコンスタンチイ

帝ノ時アリイ黨ヨリ窘逐セラレ後又背教者ユリアン帝ノ時ハリストス正教ヲ守ルカ爲ニ酷ク窘逐セラレシ人ナリトゾ

○聖致命者ニニコノ傳及ビ其ノ弟子百九十九人ノ苦難 四日

第三世代ノ頃イタリヤ國ネアポリ城ニニコント云ヘル勇敢ナル兵士アリ異教ノ徒ナリシ父ニ教育セラレシモ其母ハ「ハリステイア」ナリケレハ常ニ主神ニ眞ノ教ヲ以テ愛子ニニコノ心ヲ教化センヲ祈リ且屢々ニコノニ教フルニ神ノヲ以テシ其後ニコノカ戰場ニ臨マント

スル時母之ヲ送り之ヲ戒メテ曰ク爾常ニ主イエススハリ
 ストスノ佑ケテ呼フベシト然レトニコンハ母ノ戒ヲ輕
 視シテ敢テ深ク意ニ留メザリシモ此ノ言遂ニ大ナル結果
 ナ見ルニ至レリ
 斯クテニコン戰場ニ臨ミタルニ四方ヨリ敵ニ圍マレテ
 大ニ苦戰セシガ忽然母ノ言ヲ追思シ天ヲ仰キ身ニ十字架
 ナ畫シ大ニ呼ンテ曰ク全能ナル神ハリストスヨ願クハ爾、
 全能ノ力ヲ顯ハシテ我ヲ佑ケ玉ヘ我レ亦今ヨリノ爾ノ僕
 トナラント俄ニ至上者ノ力ニ感シ勇氣百倍シテ出沒飛鳥
 ノ如ク大ニ戰フテ敵軍ヲ破リ身ニ一創ヲモ受ケス殿戰シ

テ還リケレハ全軍其ノ無双ナル勇氣ニ驚キ之ヲ歎賞セザ
 ル者ナカリキカクニコンハ已ニ真理ノ光リニ照サレケ
 レハ光榮讚美ヲ神ニ歸シテ曰ク十字架ノ聖號ヲ以テ諸敵
 ナ破リ勝ヲ得タル「ハリステイアニン」ノ神ハ至大ナリト
 ニニコン凱旋シテ家ニ歸リ軍中ニ在リテ遇ヒシ次第ヲ母
 ニ告ケ、レハ敬虔ナル母ハ大ニ主カ己レノ祈禱ヲ納レシ
 ヲ悦ヒ感涙ニ堪ヘズシテ主ニ猶ホ其子ニコンヲシテ全
 心誠意熱ク主ヲ信セシメ玉ハンコトヲ祈リ且ニコンニ
 ハリストス教ノ要理ヲ解キ之ヲ勸導シ之ヲ教訓シテ聖洗
 ナ授クル司祭ニ就カシメントシケルニコン頭ヲ垂レ

意ヲ注キ默シテ母ノ教訓ヲ聞キ居タリシカ忽チ起テ呼テ
曰ク主神カ曾テ世ニ在マセシ時之ニ事フル者ノ如ク望ム
ラクハ今ヨリシテ其僕トナラソト嗚呼我レ何ソ感情ナ
キノ偶像ヲ拜センヤ獨リ天地萬物ヲ創造セル全能ノ神ニ
奉事セント且母ノ足下ニ伏シ言ヲ加ヘテ曰ク我カ母ヨ我
カ爲ニ主ニ善良ナル神使保護者ノ我カ魂ヲ導ク者ヲ遣ハ
シ我ヲノ真理ヲ悟ラシメ我ヲ導キテ神ノ聖旨ヲ行ハシメ
神ノ選ヒシ群ニ加ヘ玉ハントテ祈レヨ爾巳ニ教ヲ垂レテ
我ニ救ノ道ヲ示セリ願クハ我カ爲ニ祈リ我ヲノ柔弱ニ陷
ラシムル勿レト言ヒ終リテ家ヲ出ントシケレハ母之ニ諭

シテ曰ク爾若シ城ヲ去テ遠ク他ニ往カバ必ズ永ク留マル
勿レ我已ニ老タレハ何レノ日死スルモ知ルヘカラズ若シ
我が臨終ノ日爾家ニ在ラズンハ我ノ悲哀極メテ大ナリト
ニニコンハ速ク家ニ歸ルベキヲ約シ別テ告ケ母ノ降福ヲ
受ケ出テ、司祭ヲ尋テントセシモ當時ハ神品ト信者トニ
論ナク皆窘逐ヲ避ルカ爲メ城ヲ去リ四方ノ山野ニ散シ隠
レシユヘ其司祭ニ逢フハ容易ノ事ニアラザリシ
ニコン周ク城中ヲ尋テシモ司祭ニ逢フ能ハザレハ遂
ニ東方ニ行カントスル船ニ乘リタリ其親族朋友ハニコ
ンカ軍職アルガ爲メニ之ニ遇ハントスルモ能ハズ母モ亦

愛子カ何所ヲ指シテ發足セシヤヲ知ラザリキ
 再說幾クナラズシテニールコンノ乘リシ船ヒオス島ニ達シ
 ケレバニールコン岸ニ上リテ山ニ入り八日ノ間神ニ祈禱シ
 テ救ノ道ニ導カントスル者ヲ示シ玉ハンヲ祈リ八日將
 ニ滿タントスルノ夜、神使、夢ニ顯ハレテ十字架ヲ附シタル
 杖ヲニールコンニ與ヘ次朝ヲ以テ船ニ乗ルベキヲ命ジタリ
 ニールコン命ニ從ヒ航スルヲ二日ニシテ遂ニガノス山ニ達
 シタルニキザノ主教フエオドシイ弟子數人ト難ヲ避ケテ山
 中ニ居リケルカ夢ニテニールコンガ將ニ山ニ到ラントスル
 事知リ喜ンテニールコンヲ迎ヘ愛ヲ尽シテ正教ヲ説キ示シ

遂ニ聖洗機密ヲ授ケタリ

ニールコン諸修士ト共ニ居テ常ニ祈禱ヲ爲シ聖書ヲ學ヒ少
 シモ惰ルヲナク勉テ修士ノ諸徳ヲ脩メケレハ遂ニ其聖行
 ハ諸兄弟ノ驚歎スル所トナレリ
 斯クテ三年ノ後フエオドシイ夢ニ死期ノ近ツキタルヲ以テ
 牧衆ヲニールコンニ委任スベキヲ神ヨリ示サレケレハ先ツ
 ニールコンヲ立テ、輔祭トナシ次テ司祭ニ擧ケ後チ叙聖シ
 テ主教ノ聖職ニ昇シ百九十八ノ修士ヲ委任シ訓誨ヲ垂レ
 且此ノ曠野ニ住スルハ蕃人ニ掠奪セラレ、ノ恐レアルニ
 ヘシチリヤニ避クベキヲ命ジタリ其ノ後幾クナラズシテ

フエオドシイ世ヲ逝リシカハ衆兄弟ニイコント借ニ皆船ニ
 乘リ海ニ航シ數日ナラスシテイタリヤノ海岸ニ達シタリ
 コハニイコン先ツ母ニ逢ハンヲ欲シテナリ斯クテニ
 コンハチヤボリ城ニ歸リテ母ニ逢ヒシカハ母大ニ欣ヒテ
 涙ヲ流シ跪キ神ニ祈リテ曰ク主ヨ爾ニ感謝ス蓋シ爾ハ我
 ニ己レヲ献リテ爾ニ奉事スル者トナルノ我カ子ヲ見ルヲ
 玉ヘハナリ今爾ニ祈ル願クハ我カ魂ヲ爾ノ手ニ受ケヨト
 祈リ終リテ敬虔ナル母ハ主ニ復歸セリ
 既ニシテニイコンノ舊知朋友ハ彼レノチヤボリニ歸リタ
 ルヲ聞キ來リテ彼ヲ訪ヒシコニイコン彼等ニ向ヒ具サニ

告ルコ眞神ヲ識認セシヲ以テシ且教フルニ神及ヒ神ノ
 箴誠ヲ以テセシカハ聞ク者大ニ感シテ多ク神ヲ信シ九人
 ノ兵士ノ如キハ心ヲ決シテニイコンニ從ヒ身ヲ致シテ主
 ニ奉事セントシ聖ニイコント借ニシナリヤニ至レリ斯ク
 テ彼等ハ曠野ニ入り潤美ニシテ閑靜ナル所ヲ撰ンテ修行
 ノ地トナシ田ヲ耕シ果ヲ結ブノ樹木ヲ植ヘ操作シテ此ノ
 世ヲ送ラントセリ
 然ルニ未タ幾ハクナラスシテ地方ノ長官クワインティアント
 稱シテ嘗テ聖女アガファイヤヲ審逐シテ死ニ至ラシメタル者
 ノ知ル所トナリ亦其毒手ニ罹レリ是ニ於テクワインティアン

兵士ヲ遣ハシテ修士等ヲ捕ハシメタルニ聖ニ一コン兵士
 等ノ來ルヲ見之ニ謂テ曰ク汝等ノ來ルハ善事ヲ爲スカ爲
 メナリ蓋シ我等ノ主神ハ汝等ヲ以テ我等ヲ己レノ家ニ召
 サントスルナリト又修士等ニ謂テ曰ク固ク我等ノ信仰ヲ
 守リ善良ナル牧師ガ身ヲ殺シテ魂ヲ殺ス能ハザル者ヲ懼
 ル、勿ント云ヒ玉ヒシ言ヲ記憶シテ苦ヲ受ケ死ニ至ルヲ
 懼ル、ナカレト修士等モ皆主ニ己レヲシテ怖ル、一ナク
 主ノ聖名ヲ識認スルノ力ヲ玉ハン一ヲ祈リ從容トシテ兵
 士ニ護送セラレタリ
 衆兄弟祈禱ニヨリテ固メラレ泰然トシテ長官ノ前ニ立チ

シカハ長官彼等ヲ諭シテハリストスニ反離セシメントシ
 ケルモ衆異口同音答フルニ眞神ヲ棄テサルヲ以テセリ斯
 シテ長官ハ修士等ヲ慘然タル苦ニ渡シニ一コンヲ除クノ
 外悉ク死刑ニ處シケレハ修士等皆神ヲ讃揚シ主ニ祈リッ
 、己レノ魂ヲ主ニ獻シタリ而シテ一コンハ獨リ獄舎ニ下
 サレシカ其夜、神ハ奇夢ヲ賜ヒテ其信仰ヲ固メ玉ヘリ
 次日ニ至リクワインティアンニ一コンヲ召致シテ説諭セシカ
 其傲シナキヲ見、火ヲ以テ其体ヲ燻シ悍馬ヲシテ彼ヲ曳キ
 テ驅逐セシメシモ神ハ一コンヲ守リ其苦ヲ安カラシメ
 シカハ彼ハ諸々ノ苦難ノ中ニ在リテ聲高朗カニ主ヲ讃揚

シテ止マサリキクワインティアン其堅ク忍フヲ見テ異教人等
ノ或ハハリストス教ヲ信センヲ恐レ彼ヲ刎首スルヲ
命シタリ斯クテ聖致命者等ノ遺骨ハメッシンノ主教之ヲ葬
リ其後幾クナラスシテクワインティアン聖アガフイヤノ財産ヲ
收メントテバレルモ城ニ往キ途ニアシムフ川ヲ渡リシ
時馬逸シテ水ニ落テ遂ニ非業ノ死ヲ遂ケテ猛惡ナル窘逐
者亡ヒタリ

○此日又ペナエルスノ成徳者ニイコン及ヒアドリアン王
ノ時窘逐セラレシ聖致命者フリト其妻リデヤ及ヒ其嬰兒
ノ紀念祭ヲ行ヘリ

○五日

聖使徒バウルガビシデヤ郡セレウキヤ城ノ主教ニ立テダ
ル聖アルテモンヲ紀念セリ然レト其傳詳カナラズ

○至聖ナル永貞處女神母マリヤ福音ノ祭 六日

是ノ大ナル日ニ於テ「ハリステアニン」等ハ何事ヨリモ最ト
喜ハシキ事ヲ記憶セリ开ハ神使カ至聖處女マリヤニ顯ハ
レテ八ノ久ク待チタル救世主ガ遠カラズシテ世ニ降臨セ
ラル、ヲ告ケシ丁是ナリ四福音者中、救世主ハリストスノ
降誕ニ先タチテ何等ノ事アリシヤハ聖使徒ルカ最モ精密
ニ之ヲ記セシユヘ今左ニ之ヲ述ヘン

抑モ使役首ガウリイルガ神ノ命ヲ奉シテ司祭ザハリヤニ
前驅イオンノ生ル、トヲ報セシ後六月ヲ經テガウリイ
ル又神ノ命ヲ受ケナザレトニ遣ハサレテ處女マリヤニ臨
メリ此ノ至潔ナル處女ハイオシフトテ最ト敬虔ナル老翁
ニ聘セラレタリ而ソイオシフハマリヤト偕ニダウィード王
ノ族ナリキ

神使マリヤノ室ニ入り告テ曰ク恩ヲ受クルノ女安カレ主
ハ爾ト偕ニス諸女ノ中爾讚美タリト謙遜ナル處女之ヲ聞
キ其言ヲ訝リシニ神使又曰クマリヤヨ懼ル、トナカレ蓋
シ爾ハ己ニ神ノ恩ヲ獲、將ニ姪テ子ヲ生マントス其名ヲイ

イススト名ツケヨ彼レ將ニ大ナル者トナリ至上者ノ子ト
稱セラレントス主神ハ將ニ其祖ダウィードノ位ヲ以テ之ニ
予ヘ永クイアコフノ家ニ主タラシメントス而シテ其國終
ルナカラシメ至聖處女、神使ニ謂テ曰ク我未タ夫ニ適ズ何ニ
由テ此ヲ得ン神使答テ曰ク聖神爾ニ臨ニ至上者ノ力爾ヲ
蔭庇セントス是ヲ以テ生ム所ノ聖者ハ將ニ神ノ子ト稱セ
ラレントスト且告クルニ其親戚エリサワエタガ子ヲ生マン
トスルノ約ヲ受ケタルノ悦ヒヲ以テセリマリヤ曰ク主ノ
婢此ニ在リ願クハ爾ノ言ノ如ク我ニ應セントテ神使遂
ニ去ル當時マリヤ起テ山地ニ往キ親戚エリサワエタノ安ナ

問ヒケレハエリサワエタ聖神ニ感シマリヤチ主ノ母ト稱シ
 テ亦其安ヲ問ヘリ
 至聖ナル處女ノ父母ハイオアキム及ヒアンナト云ヒテ敬
 虔ニシテ老タル人ナリ父母未タ彼ヲ生マサルノ前、神ニ女
 ヲ捧クルヲ約シ已ニ三歳ヲ滿ヤシ時父母ハマリヤチ聖堂
 ニ献リ其後幾クモナクシテ此ノ世ヲ逝リタリ處女ハ聖堂
 ニ留マリテ聖役者ノ管督ヲ受ケ祈禱及ヒ聖書ノ誦讀ニ日
 チ送り少シモ惰ルコトナカリキ
 傳ヘ言フ處女マリヤハイウデアノ國風ニヨリテ嫁スヘキ
 ノ年ト成リケレハ司祭長等已ニ妙齡ニ達セシ女ヲ聖堂ニ

置ク能ハサルコト長人ヲ撰フベキチマリヤニ勸メタリ然
 レト至聖ナル處女マリヤハ父母已ニ我レチ神ニ献ジ我モ
 自ラ己レチ主ニ捧ケ、レハ終身處女ニシテ貞潔ヲ守ラノ
 事決心ノ答ヘケルトイウデア國中未タ曾テ自ラ身ヲ献ソ
 神ニ奉事スルカ爲ニ嫁セサルノ例ナキコト國ノ風儀ヲ乱
 サマルカ爲メマリヤノ遠戚イオシフト呼ヘル敬虔ナル老
 人ヲ撰ヒテ假ニ夫トナシ以テマリヤチ護ラシメタリマリ
 ヤハ義人イオシフノ家ニ至リ業ヲ營ミイオシフノ諸女ト
 偕ニ家事ヲモ料リ敬虔ニシテ嚴重ニ身ヲ守リ閑話雜談ヲ
 爲サス好テ聖書ヲ讀ミシ故、今福音ヲ受クルノ聖像ヲ畫ク

時ハ必ス聖書ヲ讀ムノ狀ヲ書ク也マリヤハ預言者ノ書ヲ
 熱讀シテメツシヤノ將ニ降臨セントスルヲ悟リ又イサイヤ
 ノ書ヲ讀ミテメツシヤカ必ス處女ヨリ生レ玉ハンコヲ知リ
 至心至意其ノ救主ヲ生マントスル讚美スヘキ處女ニ謁シ
 其婢ノ一ニ加ヘラレシコト願ヒタリシカ圖ラサリヤ彼レ
 自カラ神ノ子ノ母トナラントハ故ニ至聖ナルマリヤ大ニ
 遷リテ其言ヒ顯ハス能ハザル喜ヒテ以テ神使ノ嘉告ヲ受
 ケ且エリサワクカ安ヲ問フニ答テ曰ク我カ心唯主ヲ大ト
 ナス我カ靈、神救主ヲ樂ム蓋シ其婢ノ卑微ヲ願ミ玉ヒシ故
 今ヨリノ後、万世我ヲ福アリト謂ハン其能アルヲ以テ我ニ

此ノ大事ヲ成セリ其名ハ唯聖ニシテ至聖ナル處女ニ嘉告
 恤シテ世々ニ至ラント

○七日

聖教會ハ神ノ子ノ降誕シ玉ヒシコトヲ至聖ナル處女ニ嘉告
 セシ聖使役首ヲ祭ルカ爲ニ會セリ故ニ此ノ祭日ヲ稱シテ
 使役首ガウリイルノ會ト云フ

○シルミヤノ主教神品致命者聖イリネイノ苦難七日
 聖イリネイハテオクリテイアン及ヒマシミアンノ二帝カ
 共ニロマニ帝タリシ時、難ヲ受ケタル人ナリ彼レ弱冠ノ時
 已ニパンノニヤ郡(ウエングリヤ)シルミヤノ教會ヲ治メタリ

シカパンノニヤノ有司プロフナル者イリネイヲ己レノ許
 ニ召シテ諸神ニ祭リテ、献ズベキヲ勸ムレモ聽カザルユヘ
 慘酷ナル拷治ヲナシイリネイニ問フテ曰ク爾今諸神ニ祭
 ヲ献セントスルヤト聖致命者答テ曰ク我レ自由ノ承認ヲ
 以テ眞神ニ献祭セント
 イリチイノ親戚朋友來リテ有司ト偕ニ聖イリチイヲシテ
 正教ニ反離セシメント欲シ年少ナル致命者ノ足下ニ伏シ
 テ涙ヲ流シ正教ヲ棄テ已レノ生命ヲ全ウセンヲ勸メタ
 リシモイリネイ固ク己レノ信仰ヲ守リ親戚朋友ニ告テ曰
 ク誰カ我ヲ人前ニ捨ル者ハ我モ亦天ニ在リテ我カ父ノ前

ニ捨テントトハ是レ我カ主イイススハリストスノ聖言ナリ
 我カ親愛スル人々ヨ爾等ノ好意ニ出ツル説諭モ有司ノ體
 責モ我ヲシテ我カ神ノ箴誠ヲ破ラシムル能ハス我カ心ト
 我カ望ハ悉ク神ニ嚮向ストプロフ曰ク爾朋友ノ涙ト請ト
 ヲ容レ己レノ無智ヲ省リミ諸神ニ祭ヲ献シテ爾ノ生命ヲ
 救フヘシト聖イリチイ曰ク我ハ偶像邪神ヲ拜セズシテ我
 生命ヲ救ヘリトプロフ怒リテ主教ヲ獄舎ニ繋カシメ數日
 ノ後引キ出タシ責問シテ正教ニ背カシメントシケルモ少
 シモ効ナカリキ致命者曰ク我カ教會ノ諸子ニハ之ヲ護リ
 且救ヒ玉フノ神、父アリ凡ソ父母兄弟妻子ヲ愛スルヲ神ヲ

愛スルニ勝ル者ハ救主ハリストスニ宜シカラズ我等ノ魂
 ハ神ノ手ニ在リ爾唯王ノ命セシ如ク我ニ行ヘヨトプロフ
 曰ク我レ爾ヲ死ニ處スルモ爾尙ホ諸神ニ獻祭スル能ハサ
 ルカ聖イリチイ曰ク是レ我カ望ム所ナリ速ニ其死刑ヲ以
 テ永世無窮ノ安樂ニユカントプロフ遂ニ彼ヲ刎首シテ其
 身ヲ川ニ投スヘキヲ命シケレハ聖イリチイ其宣告ヲ聞キ
 大ニ欣ヒ主ヲ讚揚シテ曰ク主ハリストスヨ爾ニ感謝ス爾
 我ヲ能ク爾ノ聖名ヲ承認スルニ堪ユルノ力ヲ賜フヲ以
 テナリ願クハ我ヲ爾ノ永世無限ノ光榮ヲ蒙ル者ト成ル
 ヲ得セシメ玉ヘヨト死ニ臨ミ又主ニシルミヤノ諸教會ノ

人々ヲ諸惡ヨリ護リ且形アルト形ナキノ諸敵ヨリ救フテ
 彼等ヲ正教ニ固メ玉ハンヲ祈リ了リ泰然トシテ刎首セ
 ラレ其体ハサワ河ニ投セラレタリト云フ

○八日

此ノ日フエサロニカノ聖致命女マトロナヲ紀念セリ彼ハイ
 ウデイヤノ一婦人ハウテイラノ婢ナリハウテイラ常ニマトロ
 ニ勸メテハリストス教ヲ棄テシムレバ彼レ聽カサルユヘ
 最ト慘酷ニ使役セラレタリ然レトマトロナハハリストス
 ノ爲ニ悉ク之ヲ忍ヒ受ケ信實ヲ悉メ主婦ニ仕ヘシカ時々
 竊ニ正教ノ聖堂ニ詣リケレハ遂ニ主婦ニ知ラレテ酷ク鞭

搥セラレ縛シテ一室ニ幽セララル、丁數回ナリ或ル日主ハ
 奇蹟ヲ以テ己レノ忠信ナル奉事者ノ縛ヲ解キタリ而シテ主
 婦ハマトロナノ立テ祈禱スルヲ見大ニ怒リ最ト残酷ニ彼
 ナ鞭ヲ室内ニ幽シケレハマトロナ遂ニ此ノ世ヲ逝リタリ
 主婦ハ其遺骨ヲ家外ニ棄テシメシガ正教ノ人々譴テ其遺
 骨ヲ葬リタリ其後ソルンノ主教アレキサントル聖致命女
 マトロナノ名ニ依リテ聖堂ヲ其墓頭ニ營ナミシト云フ

○ペテロルスクノ神品致命者聖エウストラテイイノ苦

難九日

ペテロルスクノ大修道院ハ大約十一世ノ半キユウ城ニ造營

シタリ幾クナラズシテ降生一千零九十六年ボロフノ夷人
 ホニク候ヲ將トシテキユウニ侵入シ木造ノ大修道院ヲ燒
 キ聖堂ノ寶物ヲ掠奪シ多クノ修士ヲ殺シ或ハ虜ニセリ年
 代誌ニ是ノ事ヲ記シテ神其僕ヲ罰シ玉ヘルハ誘ノ溶釜ヲ
 以テ黃金ヲ出サンカ爲ナリ蓋シ信者タル者ハ多哀ノ中ニ
 天國ニ入ル可キヲ要スレハナリト
 斯ク虜ニセラレシ「ハリスティア」等ハ之カ爲メニ實ニ大
 ニ信仰ト堅忍トヲ顯セリ蓋シ其處ニセラル、者凡テ五十
 人ナリシカ二十八ハ修士ニシテ餘ハ皆修道院ニ役セラル
 、人ナリ彼等ヘエルン城ニ居ルーイウレイ人ノ手ニ賣ラ

レテ奴トナリシカ主人素ヨリイウデヤ教ノ人ナレハ彼等
 ナ強迫シテハリストス教ニ反離シイウデヤ教ニ歸セシメ
 ント欲シ若シハリストス教ニ反離セスンハ飲食ヲ與ヘズ
 ト嚇シタリ一修士名ハエウストラテイナル者其借ニ勝ニ
 セラレシ人々ヲ教戒シテ曰ク兄弟ヨ我等皆主ノ名ニ依リ
 テ聖洗ノ機密ヲ領ケシ者ナリ爾之ヲ忘ル、勿レ主ハリ
ストスハ我等ヲ聖神ト水トヲ以テ甦セリ主ハリストスハ
己レノ寶血ヲ以テ我等ヲ罪惡ヨリ贖ヒテ永遠限リナキ天
國ノ嗣者ト爲セリ必ズ主ニ反離スルコトナカレ生キンカハ
リストスノ爲ニセン死センカ又ハリストスノ爲ニセンノ

ミト此ノ言ニ屬マサレ衆皆決心ノ主人エウレイ人ノ前ニ
 出テ生命ノ餅、永遠ノ生命ナルハリストスニ反離センヨリ
 ハ寧ロ死スルニ若カスト謂ヒシカハ主人大ニ怒リテ彼等
 ニ食ヲ與ヘサル故或ハ三日ヲ經或ハ七日ヲ經テ遂ニ皆餓
 死セリサレトエウストラテイハ常ニ禁食ニ慣ル、ユヘ久
 シ生命ヲ保チ多クノ苦ヲ受ケシカ主人エウレイ人ハ「パス
 ハ」ノ日ニ於テ彼ヲ十字架ニ釘シ知己朋友ヲ集メテ彼ヲ罵
 リ且主イエイススハリストスヲモ誹謗セリエウストラテイ
 ハ主ノ刑ト同シク十字架ニ死スルカ爲メ主ニ感謝シ全心
 主ニ依頼シ從容トシテ諸難ヲ忍ヒ受ケ呼テ曰ク我ハ主カ

右盜ニ今ヨリ我ト偕ニ天國ニ在ラント云ヒ玉ヒシ如ク我
 ニモ亦斯ク云ヒ玉ハンコヲ信ズ而ソ爾等ハ爾等カ苦シメ
 タル「ハリステイアニ」等ノ血ノ爲ニ審鞠ヲ受ケン」ト主人之
 ナ聞テ大ニ怒リ劍ヲ拔キ聖致命者ヲ刺シ殺シテ其屍ヲ海
 中ニ投シタリ傳ヘ云フ其聖軀ハ奇徴ノ顯ハルアリテ聖致
 命者等ノ紀念ヲ慎ミ行フ所ノ大道修院ノ洞穴ニ遷サレタ
 リト

○此ノ日又斥像者ノ爲ニ窘逐ヲ受ケタル「アイリキトス」修
 道院ノ掌院成徳ナル「イラリオン」ヲ紀念セリ

○アレフザノ主教聖マルクノ苦難十日

昔時コンスタンティン大帝在位ノ時正教ハ異教ノ中ニ在テ
 勝利ヲ得タリケレバ諸郡邑ニ在ル偶像ノ殿ハ多ク毀タレ
 テ正教會ノ聖堂造營セラル之ニヨリテ多クノ主教等、帝ヨ
 リ邪神ノ殿ヲ毀ツノ特權ヲ得、常ニ銳意正教ヲ傳ヘ虔敬ニ
 シテ聖行アルアレフザノ主教マルクモ亦タ其特權ヲ得タ
 リ
 幾クナラズシテ國內大ニ騒キ軍士等乱ヲ作シテ皇族ノ人々
 ナ殺シ遂ニ皇姪ガル、及ヒユリアンヲ弑セントセシカ
 アレフザノ主教ハ皇姪ヲ援ケテ聖堂ノ中ニ潜伏セシメ其
 難ヲ免カレシメタリ斯クテコンスタンティン大帝崩セシ後

皇子コンスタンティン位ニ即キ偽教ヲ保護シ正教ノ徒ヲ窘迫セリコンスタンティン帝崩ゼシ後主教マルクニ死ヲ救ハレタリシユリアン位ニ即キタリシガユリアンハコンスタンティン帝在位時ノ時ハ己レヲ欺キ正教ヲ承認セシカ彼レ素ト正教ヲ嫌ヒシ故ニ帝ト爲ルニ及テ直ニ命ヲ出シテ邪神ヲ拜セシメ力ヲ尽シテ「ハリステイアコン」ヲ辱シメ之ヲ亡ボサント欲シ令ヲ下シテ「ハリステイアコン」ノ毀チシ邪神ノ殿ヲ再興シ其費ヲ之ヲ毀チシ者ニ負擔セシメントセリ聖行ト虔敬トヲ以テ衆ニ敬戴セラレ、ノ聖マルクハ既ニ老邁セルモ猶「アレフザ」城ノ主教タリシガ曾テ彼レガコンス

タンティン大帝ノ時毀チタル偶像ノ殿ヲ再興センガ爲メ帝ハ官吏ヲシテ主教マルクニ其費額ヲ贖フヲ命セシガ主教泰然トシテ答テ曰ク我ニ金錢ナシ若シ或ハ之レ有ルモ偶像ノ殿ヲ造營スルガ爲ニハ出ス能ハザルナリ」ト官吏固ヨリマルクノ實ニ清貧ナルヲ知リ之ヲ嚴責セズシテ遂ニ大ニ其額ヲ減シテ之ヲ課シ且嚇シテ曰ク若シ贖ハザレバ酷ク苦ニ處セン」ト
 當時ノ皇帝大ニ邪教ヲ保護セシカバ窘逐四方ニ起リ異教人等酷ク「ハリステイアコン」ヲ強迫シテ之ヲ苦シメタリ老邁ナル主教ハ生命ノ危キヲモ顧ミズ官吏ノ請求ニ應セザリ

シユヘ異教ノ民ニ渡サレシガ民ハ大ニ怒リテ彼ヲ鞭撻シ
彼ヲ石撃シ市街ヲ引キ廻シ之ヲ苦シメテ殆ンド死ニ至ラ
シメタレト其堅忍ニ勝ツ能ハザリシガ一ノ縣令アリ其剛
毅ナルニ感シ彼ヲ窘逐者ノ手ヨリ救ヒタリト云フ史家、福
禧ナルフエドリトノ言ニ依ルコアレフザ城ノ民ハ聖翁ノ
堅忍不拔ナルヲ見テ大ニ感シ眞理ニ歸スル者甚多ク謹テ
其教訓ヲ聽キタリト云フ

○此ノ時補祭キリールモ苦ヲ受ケ且バレスタイナ、エギペト
シリヤ地方ノ諸城ニ在リテ窘迫ヲ受ル者モ甚多シト云フ
○我等ノ父成徳ナルイオアンレストウチニコソノ紀

念十一日

聖イオアンハ何處ニ生レシ人ナルヤ詳ナラズ或ハ云フシリ
ヤノ人ナリト彼レ人トナリ活潑有爲ニシテ篤ク神ヲ信シ
年纔ニ十七ノ時世塵ヲ避ケテシナイ山ニ隱遁シ遂ニ修士
トナリ虔敬聰明ナル一老翁ニ隨フテ道ヲ修ルト十九年ナ
リシガ老師世ヲ逝ルノ後シナイ山中ナルフォラト呼ヘル曠
野ニ遷リタリ彼レ曠野ニアリテ祈禱禁食ニ日ヲ送り痛悔
ノ涙ヲ流シテ神ヲ思念シ常ニ寂寞幽靜ノ地ニ孤棲スルヲ
好メ且時トシテ教訓ヲ受ケントシテ來ル者ハ之ヲ防カス
モイセイト云ヘル者ヲ受ケテ弟子ト爲シタリモイセイノ

事ニ付キ神カ忠信ナル已レノ僕ヲ護リ玉フノ厚キヲ示ス
 ノ一話アリ其故如何ヲ尋ヌルコ或ル日モイセイ精舎ヲ出
 テ遠シ勞役ニ就キシガ聖イオアン精舎ノ内ニ在リ祈禱終
 リテ眠リシ時忽チ聲アリ曰ク爾ハ安眠シ爾ノ弟子ハ危キ
 ニ在リトイオアン驚キ醒メテモイセイノ在ル所ヲ知ラズ
 之ヲ尋ヌルニ由ナク精舎ニ在リテ祈禱セシガ日暮ル、比
 ホヒモイセイ歸リ來レハイオアン直ニ問フコ危難ノ身ニ
 及フナキヤヲ以テスモイセイ曰ク我レ殆ント岩石ノ我ヲ
 壓殺セントスルニ逢ヒタリ其ハ我レ大ニ疲勞シ且炎熱ノ燒
 シガ如キコ堪ヘズシテ大石ノ陰ニ憩ヒ睡リシコ乍チ師ノ

我ヲ呼フノ聲ヲ聞キ急ニ起テ其處ヲ離レタル時大石忽チ
 仆レタリトイオアン之ヲ聞キ感涙ニ堪ヘズ弟子ノ危キヲ
 知ラシメ且其祈禱ヲ聽キ納レ玉フノ主ニ感謝セリ
 斯ク多年ノ間曠野ニ在リシガ後シリヤ州ノ修士等ノ請ニ
 ヲリ其地ノ修道院ノ長トナリ衆兄弟ヲ導キテ靈ノ功勞ヲ
 立ツベキヲ誨ヘ且高尙ナル靈智ヲ以テ「レストワイチ」ト題セ
 ル書ヲ著シ以テ凡ソ信者タル者ノ全心誠聖、神ニ向フヘキ
 本分ヲ全ウスルヲ教ヘシ故コレストワイチニクノ名ヲ得タ
 リ其他「教師ニ與フル」ノ書ト題セル書ヲ著セリ彼レ享年六
 十歳ニシテ世ヲ逝レリ實ニ降生六百零六年ナリ

或人云フイオアンハ成徳ナルクセノフオント及ヒマリヤノ
子ナリト彼等ノ紀念ハ二月七日ニ行ヘリ

○十二日

此ノ日ガクルノ主教、聖イパタイチ紀念セリ彼レハ第一聖
全地公會ニ與カリタル人ナリ行、嚴正ニシテ大ナル奇蹟ヲ
行フノ異能ヲ主ヨリ賜ハルヲ以テ著名ナリシト云フ

○又此ノ日ハ全ロシヤノ府主教聖イオナノ世ヲ逝リシ日
ナリ其傳ハ六月廿七日ニ載ス

○聖ナル義人美善ナルイオシフノ傳 十二日

我が正教會ノ信徒タル者ハ誰カ幼ヨリシテ彼ノ兄弟ニ賣

ラレタルイオシフノ事實ノ人ヲシテ感動ニ堪ヘザラシム
ルノ話柄ヲ知ラザランヤ是レ舊約書中ノ最ト教訓トナス
ベキ物語ノ一ナレハ我等ハ虔敬ナルイオシフガ無量ノ謙
遜ニ倣ヘ必ス怒ヲ發シ人ヲ憾ムノ諸念ヲ絶タザルベカラ
ズ又不幸艱難ノ中ニ在リテハ能ク主ヲ呼フヲ習フベシ
蓋シ我等屢々不幸ニ逢ヘルト爲スハ我等ノ幸福ノ泉ナル
神ノ照管ノ不可思議ナル道ニ依ラズシテ行ヘバナリ
支祖イアユフハ己レノ十二子ノ中最モ季子イオシフ及ヒ
ワユミアミンヲ愛セリ此ノ二人ハイアコフノ至愛ノ妻ヲヒ
リノ生ム所ニシテラヒリ、ワユミアミンヲ生ムノ後幾ナラズ

シテ死シエウフラフアノ地ニ葬ラレタリ(后ワイフレム城ヲ立
 テシ所ナリ)イオシフハ容貌美ニシテ性質モ善良ナレハ諸
 兄カ悪行ヲ以テ悲シマシムル所ノ老タル父ノ慰藉者タリ
 而シテ父ハ殊ニ獨リイオシフヲ愛スルガ故、兄弟之ヲ快シト
 セスシテ遂ニイオシフヲ嫉ムノ念ヲ起スニ至レリ
 或ル日イオシフ夢ヲ見兄弟ニ告テ曰ク我レ懼ルベキノ夢
 ナ見タリ諸兄請フ之ヲ聞ケ我レ兄弟ト共ニ田ニ行イテ麥
 ナ束チシニ我カ束チタル麥ハ直立シ兄弟ノ束ネタル麥ハ
 皆之ヲ拜セリト兄弟之ヲ聞キ怨ミテ曰ク爾ハ我等ノ主ト
 ナリ我等ハ爾ノ僕トナルベキカト數日ヲ過キイオシフ又

夢ヲ見之ヲ父ト兄弟ニ告テ曰ク日月及ヒ十一星アリ皆我
 ナ拜セリトイアコフ之ヲ聞キイオシフヲ譴メテ曰ク爾ハ
 果シ我等皆爾ノ前ニ伏拜スルト思フヤト且竊ニ思フ恐ラ
 クハ神ハ彼ヲシテ將來大ナル者ト爲サントスルカト然レ
 ト諸兄弟ハ是ヨリシテ大ニイオシフヲ惡ミタリ夫レ假令少
 ナリトモ心ニ仇怨ノ念ヲ存スルハ甚危キナリ若シ心ニ此
 ノ念起ルアラバ速ニ之ヲ除キ去ルヘシ然ラズンハ此ノ念
 漸ク長シテ人ヲシテイアコフノ諸子ノ如ク大罪ニ陷ラシ
 ムルニ至ラン豈ニ恐レサルベケンヤ
 イアコフ牧羊ヲ業トシテ大ニ富ミ諸子ヲシテ夥多ノ群ヲ

牧セシメシガハ諸子水草ヲ追フテ父ノ住居セシヘウロンノ
 平原ヲ去リ遠ク出テ、羊ヲ牧スル一屢々ナリシガ或ル時
 諸子數日ヨ經テ歸ラサレバ「イアコフ」大ニ之ヲ憂ヘ十七歳
 ナリシ「イオシフ」ヲ遣ハシテ彼等カ壯健安和ナルヤ否ヤヲ
 訪ハシメタリ是ニ於テ「イオシフ」曾テ父ヨリ賜フ所ノ彩衣
 ナ着、出テ兄弟ヲ尋ネシニ兄弟遙ニ之ヲ見テ互ニ語テ曰ク
 見ヨ我等ヲ夢ミタル者此ニ來レリ今之ヲ殺シ後、父ニ告テ
 惡獸彼ヲ裂キ殺セリト云ハント長兄「ルウム」人トナリ固ヨ
 リ善良ナリ之ヲ聞テ大ニ驚テ曰ク自ラ手ヲ下シ血ヲ流シ
 テ之ヲ殺ス勿レ寧ロ此ノ水ナキ井ニ棄ルコシカズト蓋シ

ルウムハ夜竊ニ「イオシフ」ヲ救ヒテ父ノ家ニ歸ラシメント
 思ヘハナリ是ニ於テ兄弟ハ「ルウム」ノ意ニ任セ「イオシフ」ヲ
 執ヘテ其衣ヲ脱カシメ彼レ泣テ哀ヲ請フモ之ヲ顧ミズ近
 傍ノ深坑即チ水ナキ井中ニ投シ其傍ニ坐シテ食ヲ爲シタ
 リ然レトルウムハ獨リ惻隱ノ情ニ堪ヘズシテ去レリ
 斯クテ兄弟食終リシ時適々「イズマイル」ノ商隊カ貨物ヲエ
 ギペトニ輸送セントシテ此ノ地ヲ過クルニ遇ヒシカ諸兄
 ノ一八「イウダ」一策ヲ按シテ曰ク我等弟ヲ殺スモ何ノ益ア
 ランヤ寧ロ之ヲ彼ノ商人ニ賣ルノ勝レルニシカズト兄弟
 之ヲ然リトシ因テ「イオシフ」坑ヨリ出シテ之ヲ商人ニ賣

リ銀錢二十ヲ得タリ獨リルワイムハイオシフヲ賣ルノ議ニ
 與カラズ後之ヲ聞テ大ニ悲哀セリ斯クテ商人等イオシフ
 ナ伴フテエギベトニ至レリ
 是ニ於テ兄弟羊ヲ屠リ其ノ血ヲ以テイオシフノ衣ヲ染メ
 之ヲ父イアコフニ遣ハシ且云シメテ曰ク我等之ヲ野ニ得
 タリ視ヨイオシフノ衣ニ非ラザルナキヲ得ンヤト不幸ナ
 ル父イアコフ之ヲ視テ其先ニ愛子イオシフニ與フル衣ナ
 ルヲ識リ直ニ諸子ノ言ヲ信セザルモ大ニ哭泣シテ曰ク
 我ハ則チ我が子ヲ悲ミテ死ニ至ラント
 憐ムヘキ少年ハ同胞ノ諸兄ニ賣ラレ奴ト爲リテ何チカ爲

シヤ彼必ス大ニ哭シ且歎セシモ神ニ依頼シテ祈禱セシナ
 ラン而シテ神モ亦彼ヲ捨テ玉ハザリキ商人等エギベトニ至
 リイオシフヲチフラチンノ近臣ペンテフリイニ賣リシカバ
 イオシフ心ヲ尽シテ主人ニ仕ヘシユヘペンテフリイ彼ヲ
 愛シ其清廉ナルヲ見、後己レノ家財ヲ司ラシメ且諸僕ヲ管
 督セシメタリオチシフ能ク己レノ職ヲ尽シ主人ノ愛ニ報
 シ神モ亦イオシフヲ助ケ彼ノ行フ所皆成就セザルハナク
 數年ナラズシテペンテフリイノ財産ハイオシフノ智力ニ
 ヨリテ大ニ増加セリ然レト神ハ曾テ屢々己レノ忠信ナル
 奉事者ニ不幸ヲ降シテ其信仰ヲ試ミシ如クイオシフヲモ

亦試ミ玉ヘリ
 再説近臣ペンテフリイノ妻ハ姦ニシテ貞シカラザル婦人
 ナレハイオシフヲ誘ヒテ主人ノ前ニ不義ヲ行ハシメント
 セリ然レトイオシフ之ヲ拒ミテ其事成ラザリシカハ妻ハ
 憤怒ニヤ堪ヘザリケン遂ニ之ヲ報ヘント欲シイオシフヲ
 夫ペンテフリイニ讒シテ彼ヲ罪セントセリペンテフリイ
 之ヲ信シ直ニイオシフヲ獄舎ニ下サシメタリ
 在獄ノ者皆イオシフノ謙遜ニシテ善長ナルヲ愛セシガ適
 ヲ獄中ニ王ノ近臣二人アリ一人ハ膳長ニシテ一人ハ酒正
 ナリ一日イオシフハ二人ノ甚愛フルヲ見其故ヲ問フテ二

人ガ前夜ノ夢ニヨリテ憂フルヲ知リ詳ニ之ヲ問ヒシニ二
 人明カニ其夢ヲ告ケシカハ神ハ仁慈ニヨリタイオシフニ
 智慧ヲ賜ヒ詳ニ其夢ヲ解カシメタリイオシフ二人ノ言ヲ
 聴キ膳長ニ告テ曰ク爾三日ノ後殺サレテ木ニ懸ラレシ又
 酒正ニ告テ曰ク爾三日ノ後前職ニ復ラシ若シ爾幸ヲ得ハ
 我ヲ思ヒ我ヲシ此ノ獄中ヨリ免レシメヨト三日ヲ過キテ
 イオシフノ預言果シテ應セリ然レト酒正ハイオシフヲ忘
 レシ故イオシフ尙ホ二年ノ間獄中ニ苦メリ二年ヲ經テエ
 ギベト王フアラオン奇夢ヲ見タリ彼レニール河岸ニ遊ヒ
 シニ忽チ肥美ナル七牛アリ水中ヨリ出テ岸上ノ草ヲ食シ

又羸瘠ナル七牛アリ氷ヨリ出テ尽ク先ノ肥美ナル七牛ヲ食セリフアラオン夢醒メ再ビ眠リケルニ復夢ニ一ノ莖アリ充實セル七穗ヲ出シ又枯弱ナル七穗ヲ出セシガ此ノ枯弱ナル七穗ハ先ノ充實セル七穗ヲ吞メリ此ニ於テフアラオン大ニ愁ヒ以爲ラシ禍ノ前兆ナラント因テ國中ノ博士占夢者ヲ召シ之ヲ問フニ其兆ヲ知ル者ナシ此ノ時酒正ハイオシブノ言ヲ憶ヒ之ヲフアラオンニ薦メシカハ王ハイオシフヲ獄ヨリ出シテ曰ク我レ二ノ奇夢ヲ見タリ人能ク之ヲ解クナシ聞ク爾能ク夢ヲ解クト我カ見ル所ノ夢ノ意ヲ我ニ告ケヨイオシフ曰ク我レ何事カ自ラ能ク行ヒ得ンヤ然レト

神ハ必ス己レノ力ヲ以テ我ヲ助ケ玉ハント此ニ於テフアラオン詳ニ夢ヲ告ケタリイオシフ曰ク此ノ二夢ハ其兆同キ也蓋シ神ハ之ヲ以テ將ニ行ハント思ヘレトテ預メフアラオン爾ニ告ケ玉ヘルナリ今其七牛ノ肥美ナルト七穗ノ充實セルトハ此ノ後七年ノ豊稔アルヲ示シ七牛ノ羸瘠ナルト七穗ノ枯弱ナルトハ其後七年ノ凶荒ナルヲ示スナリ是レ即チエギベトニ七年ノ間、非常ナル豊稔續イテ後七年ノ飢饉來ルヲ以テ其豊稔ノ中ニ貯ヘタルモノヲ食スベシトノ兆ナリ故ニ王宜ク智能アル者ヲ選テ國ヲ理メシメ其七年ノ豊稔ノ中ニ有餘ノ穀ヲ貯ヘ以テ凶荒ノ備ニ充テ民ヲシ

テ飢渴ニ陥イラシムル勿レトフアラオン之ヲ善トシ誰ヲカ
 之ニ依任スヘキヤト思ヒシガ遂ニイオシフニ語リテ曰ク
 神ハ爾ニ智慧ヲ賜ヒ其爲スベキノ如何ヲ示セリ我レ焉ン
 ズ爾ニ勝ル者ヲ得ンヤ今ヨリ爾ハエギペトノ主トナルベシ
 獨リ我ノミ王位ヲ以テ爾ヨリ尊カルベシト是ニ於テ自ラ
 己レノ指ヨリ黃金ノ指環ヲ脱シテイオシフノ手ニ環シ美
 服ヲ着セ金鎖ヲ其頸ニ垂レ王車ニ乗セテ市中ヲ行カシメ
 其榮ヲ民ニ示シ全エギペトノ元宰ト爲シ民ヲシテ其命ニ
 從ヒ彼ヲ尊ハシメタリイオシフ歳三十ニシテカハル高位
 ニ昇リ幾クモナグシテ妻ヲ娶リ二子マナシヤ及ヒエフレ

ムチ生ニ堅ク神ヲ信シ平安ニシテ日月ヲ送リタリ
 神ノ預言果シテ應シ七年ノ豊稔エギペトニ至リシカハイ
 オシフ全國ヲ巡視シ到ル處穀ヲ買ヒ大廩ヲ造リテ之ヲ大
 ニ儲ヘ以テ凶荒ニ備フ已ニシテ凶年至ルモエギペトノ民
 皆イオシフノ先見ニヨリテ飢渴ヲ免カレ咸ナイオシフノ
 智ニ服シ且遠國ノ民モエギペトニ來リテ穀ヲ買フニ至レ
 リ此ノ時イオシフノ父兄ノ住ミシハナアンノ地モマダ飢
 ヘシガイアコフハエギペトニ於テ麥ヲ賣ルヲ聞キ諸子ヲ
 遣ハシテ麥ヲ買ハシムラエニアミン獨リ父ト共ニ家ニアリ
 既ニシテ兄弟俱ニエギペトノ都府ニ至リシガイオシフ自

ラ点檢セザレバ穀類ヲ發賣スルヲ禁セシカバ兄弟ハイオ
 シフノ前ニ至リ之ヲ見テ地ニ伏拜シタリイオシフハ其兄
 弟ナルヲ識リ適々先ニ夢ミシヲ憶ヒ出セリ然レト伴リ
 テ之ヲ隱シエウレイ語ヲ知ラザル者ノ如ク譯官ヲモテ彼
 等ニ接シ伴リ怒リテ其言ヲ信セズ惡意ヲ懷キ國情ヲ窺ハ
 ントシテ來ル者ト爲シテ嚴ク叱セシカハ兄弟麥ヲ買ハン
 トシテ來ルノ外他ナキヲ誓テ曰ク我等ハ不正ナル者ニア
 ラズ皆ハナアンニ住ム一父ノ子ナリ我等元ト兄弟十二人
 ナリシガ一人ハ世ニ亡キ者トナリ季弟ハ父イアコフト共
 ニ家ニ在リトイオシフ叱シテ曰ク爾等我ヲ欺クヤ我必ス

其虚實ヲ知ランヲ欲ス爾等ノ中一人家ニ歸リ季弟ヲ伴ヒ
 來ルベシ其他ノ人ハ此ニ留マリテ其言ノ虚ナラザル確証
 ヲ待テヨト且兄弟ヲ試ミント欲シ命シテ彼等ヲ獄ニ下サ
 シメタリ

三日ヲ經テイオシフ又彼等ヲ已レノ前ニ出シテ曰ク我レ
 神ヲ畏ル固ヨリ敢テ人ヲ犯スヲ好マズ爾等今買ヒ穀
 ヲ携ヘテ家ニ歸レ唯爾等ノ中一人獄ニ留リ以テ季弟ヲ携
 ヘ來リテ爾等カ言ノ虚ナラザルヲ証スルノ時ニ至レト兄
 弟之ヲ聞キ大ニ悔改ノ心ヲ起シ相語リテ曰ク我等弟ニ行
 ヒシ罪ノ爲メ其天罰免ルベカラズ當時彼レ憐ミヲ乞フモ

我等其泣涕ヲ願ミザリシ故今此ノ不幸ニ遇フナリトルワイ
 ム曰ク我曾テ之ヲ止メシニアラズヤ視ヨ今其血我ヲ討ス
 トイオシフ之ヲ聞キ兄弟ノ大ニ悔ユルヲ見退イテ哭シ又
 出テ、聲ヲ勵マシ兄弟ノ中獨シメオンヲ縛リテ獄ニ下シ
 他ハ穀ヲ携ヘテ家ニ歸ラシメ且家宰ニ命シテ其價金ヲ囊
 中ニ入レシメケレバ兄弟後、金ヲ囊中ニ得テ大ニ驚キタリ
 既ニシテ兄弟家ニ歸リ父ニエギベトノ國宰ニ見ルノ狀ト
 國宰カシメオンヲ留メテワユニアミンヲ携ヘ來ル時之ヲ免
 サント云ヒシヲ告ケタリ父之ヲ聞キ大ニ愛ヘテ曰クイオ
 シフ已ニ死シシノオン獄ニ在リ今又ワユニアミンヲ取リ去

ラントス我決シテ之ヲ遣ル能ハス若シ彼レ不測ノ禍ニ罹
 ルヲアラバ我カ儼然タル白首此ノ憂ニ因テ忽チ墳墓ニ歸
 スベシ
 恚而イウデイヤノ地饑ル益甚クエギベトヨリ買フ所ノ糧已
 ニ罄キシカバイアコフ又諸子ニエギベトニ往クヲ命シタ
 リイウダ曰ク我等若シ季弟ヲ携ヘズンハエギベトノ國宰
 ニ觀ルヲ能ハストイアコフ尙ホワユニアミンヲ遣ハスヲ
 許ルサズ此ニ於テイウダ父ニ謂テ曰ク若シ我等ト共ニワ
 ニアミンヲ遣ハサズンハ我等飢ヘテ死セントス願ク
 ハ童子ヲ遣ハセヨ我之ヲ保チ其責ニ任セント父終ニ止ム

一テ得ズ之ヲ承允シテ曰ク此ノ地ノ産物ノ佳ナル者ヲ以
 テエギペトノ國宰ニ贈リテ禮物ト爲セ而ソ麥ヲ買フノ金
 一倍ヲ取り且囊中ニ在リシ前ノ金モ亦携テ之ヲ返セ而モ
 若シ止ムナクソハワエニアミンヲ携ヘヨ我レ將ニ全能ノ主
 ニ彼ノ人ヲシテ善ク爾等ヲ遇セシメ兄弟平安ニシテ歸ル
 ヲ得ルヲ祈ラントス
 諸兄弟ハワエニアミンヲ携ヘテエギペトニ到ルイオシフ諸
 兄弟ノ我カ家ニ近ヅクヲ見、家宰ヲシテ之ヲ迎ヘシメ且ツ
 食饌ヲ備フルヲ命セリ諸兄弟怖レテ懷キ先ツ價金ノ囊
 中ニ在リシヲ家宰ニ告テ曰ク君ヨ先ニ我等穀ヲ買フカ

ダメ此地ニ來リシ時我等正シク價ヲ贖ヒタリ而モ其金猶
 ホ我等ノ囊中ニ在リ如何シテ斯クナリシヤ我等實ニ之ヲ
 知ラザルナリ故ニ我等今之ヲ携ヘ來リテ爾ニ返サントス
 ト家宰曰ク心ヲ安セヨ懼ル、勿レ神爾ノ囊中ニ財ヲ賜フ
 爾ノ金我レ已ニ之ヲ受クト遂ニシメオンヲ獄ヨリ出シテ
 兄弟ニ見セシメ兄弟ハイオシフノ家ニ入り禮物ヲ備ヘテ
 イオシフノ歸ルヲ待チタリ既ニシテイオシフ家ニ歸リケ
 レバ兄弟手ニ禮物ヲ携ヘテ室ニ入り地ニ伏拜セリイオシ
 フ懇ニ問テ曰ク爾等ノ父恙ナキカ尙ホ在リヤ兄弟答テ曰
 ク爾ノ僕我等ノ父恙ナシト又俯伏シテ拜セリイオシフハ

ワニニアミンテ見テ曰ク爾等ノ季弟ハ乃チ此ノ人ナルカ又
 曰ク吾カ子ヨ願クハ神カ思チ爾ニ施ヤソトイオシフ
 同母ヲヒリノ子ナル季弟ヲ見テ涕、禁スル能ハズ俄ニ他室
 ニ入リテ哭シ後、面ヲ洗ヒ強テ其情ヲ抑ヘ兄弟ノ前ニ出テ
 食ヲ與ヘ長幼齒ヲ以テ序ト爲シ席ヲ定ム兄弟之ヲ見テ皆
 奇トセザルハナシ而シ其饌甚多シ然レトワニニアミンノ饌
 ハ他人ニ較フレハ之ニ五倍シ而シイオシフハ國風ニ循ヒ
 獨リ凡チ異ニシテ食セリ
 斯クテイオシフ己レヲ明カスノ先キ尙ホ兄弟ノ誠ニ悔ユ
 ルヤ否ヲ試ミノト欲シ家宰ヲ召シ之ニ命シテ曰ク此ノニ

ウレイハノ囊ニ麥ヲ盛リ其携フル所ノ假金ヲ囊中ニ入レ
 特ニ季弟ノ囊ニ我が常ニ用ウル所ノ銀杯ヲ入レヨト家宰
 命ニ遵ヒテ斯ク行ヘリ
 次日ニ至リ兄弟糴スル所ノ麥ヲ携ヘテ歸路ニ就キ城ヲ距
 ル未タ遠カラザルニ家宰ハイオシフノ命ヲ受ケ彼等ニ追
 ヒ及ヒ之ヲ途ニ留メテ曰ク爾等何ソ善ニ報ユルニ惡ヲ以テ
 スルヤ我カ主爾等ヲ遇スル極メテ厚シ而モ爾我等ガ主ノ
 常ニ用ウル銀杯ヲ盜ムハコレ惡ヲ行フナリ兄弟コノ言ヲ
 聞キ驚テ曰ク君如何ゾ此ノ言ヲ出スヤ我等ハ廉潔ナル者
 ナリ先ニ囊中ニ於テ得ル所ノ金ヲ携ヘ來リテ爾ニ返セシ

非スヤ決シテ斯ノ如キ惡事ヲナス者コアラザルナリ然
 レト爾若シ我等ノ中ニ杯アル者ヲ得ハ其人必ス死スベク
 且我等皆爾ノ主ニ就イテ其奴隸トナラント是ニ於テ家宰
 悉ク其靈ヲ解カシメテ之ヲ探リ長ヨリ幼ニ至リ果シテ其
 杯ヲウエニアミンノ囊中ニ得ツリケレバ兄弟大ニ懼レ馳テ
 返シテイオシフノ前ニ至レリイオシフ之ヲ罵リ聲色與ニ
 屬シイウダ曰ク我等ハ吾ガ君ニ何ヲカ對ヒ何ヲカ言ヒテ
 能ク之ヲ俾理スルヲ得ンヤ神ハ我等ノ不正ヲ罰セリ我
 等悉ク爾ノ奴隸トナラントイオシフ之ヲ肯カハズシテ曰
 ク否ナ我レ斷シテ之ヲナサズ獨リ杯ヲ匿クセシ者ヲ此所

ニ留メテ我カ奴隸トナサン他ハ皆平安ニシテ家ニ歸ルヘ
 シ
 是ニ於テイウダ進テイオシフニ謂テ曰ク我カ君ヨ爾ノ僕
 ニ一言爾ニ訴ルヲ容セ請フ之ヲ聽テ烈怒スル勿レ蓋シ我
 等始メ此處ニ至ル時爾我等ノ猶ホ季弟アルヲ知リ之ヲ携
 へ來ルヲ命セリ時ニ我等返テ之ヲ父ニ告ケシニ父ハウエニ
 アミンヲ遣ハスヲ欲セス我等ニ告ルニ爾等知ルカ如ク我
 カ妻ヲヒリ二子アリ我レ其一人ヲ野ニ遣ハセシニ爾等謂
 フ惡獸之ヲ噬メリト若シウエニアミンヲシテ斯ノ如キノ不
 幸ニ遇ハシメバ我レ悲ミテ墓ニ入ランノミト事已ニ是ノ

如シ若シワニアミンナシテ歸ルヲ得サラシメバ我が父悲
 ミテ死ニ即カン我カ君ヨ願クハ我ヲ季弟ニ代ヘテ爾ノ奴
 隸トナセ我レ始メ父ニ誓テワニアミンナ携ヘ來レリ若シ
 彼ト共ニセズンハ父ノ前ニ歸ル能ハズト
 イオシフ此ニ至リテ自ラ涙ヲ抑フル能ハス悉ク侍立スル
 者ヲ退ガシメ始テ號泣シテ曰ク我ハ乃ナイオシフナリ吾
 ガ父尙ホ在スカト兄弟コノ言ヲ聞テ大ニ驚キ懼レ且耻ナ
 一言ヲモ敢テ言フ能ハスイオシフ容ヲ和ケテ曰ク我ノ
 前ニ進メ懼ル、勿レ我ハ乃ナ爾等ノ弟コノイズマイリ人
 ノ手ニ置ガレタルイオシフナリ爾等必ク傷メ自ラ恨ムル

ナカレ神万事ニ於テ福ヲ降シ我ヲシテ爾等ニ先ツテエ
 ギベトニ至ラシメ爾等ノ生命ヲ保タシム蓋シ我カ此ニ至
 ルハ爾等ノ意ニヨルニ非ス乃チ神ノ力ニ因ル也境内ノ飢
 饉尙ホ五年ナルベシ我等ノ父ニ告ケテ言ヘ爾ノ子イオシ
 フ生存シテ此ノ如ク言フ神我ヲシテ全エギベトノ國宰ト
 ナセリ請フ爾ノ全家并ニ家僕牛羊凡ソ悉ク有ル所ヲ携ヘ
 テ來レ吾將ニ之ヲ養ハントス且爾豐饒潤美ナル(ゲセム)地
 ニ居ルヘシコレ我ト相適シト且ハナアンニ歸ルノ時悉ク
 見ル所聞ク所ヲ以テ父ニ告ゲヨト因テワニアミンナ抱イ
 テ接吻シ又他ノ兄弟ヲモ接吻セリ

既ニシテイオシフノ家族皆之ヲ知リフ、ラオンモ其事ヲ聞
 イテ大ニ喜ヒ自ライオシフノ父ニエギベトニ來ルベキヲ
 命シ且イオシフノ父及ヒ兄弟ニ賜フニエギベトノ嘉物ヲ
 以テシ又父ヲ迎フルガ爲メ車馬數輛ヲ賜ヒ且膏腴ノ地ニ
 居ラシムルヲ約セリイオシフ兄弟ト別ル、ニ臨ミ誠メテ
 曰ク途ニ相爭フ、勿レト兄弟途ニハナアンノ地ニ歸ル
 兄弟家ニ歸リ父イアコフニ告テ曰クイオシフ猶ホ在リ至
 エギベトノ國宰トナレリトイアコフ始メ其言ヲ信セザリ
 シガ兄弟イオシフノ言ヲ傳ヘ其遣セシ車馬ヲ見セシムル
 ニ及ヒイアコフ冥夢ノ初ヲ醒ムルガ如ク躍然呼テ曰ク吾

又何ヲカ求メン乎我ガ子イオシフ猶ホ在ラハ我未タ死セ
 ザルノ前必ス往テ彼ヲ見ント

イアコフ悉ク其家族ヲ携ヘテ啓行シハナアンノ境ニ至リ
 神ニ獻祭セリ夜間神イアコフニ顯ハレテ曰クエギベトニ
 至ルヲ懼ル、勿レ彼所ニ在リテ爾ノ裔ヲシテ大國トナラ
 シメ我レ之ト偕ニシテ又率井テ其裔ニ約セラル、ノ地ニ
 歸ラシメント

既ニシテイアコフエギベトニ至リケレハイオシフ車ニ乘
 リ出テ之ヲ迎ヘ父ノ面ヲ見喜テ其頸ヲ抱キ感泣スル、其
 久シ父子相逢フノ喜ヒ知ルベキナリフ、ラオン亦優意イア

コフヲ待シイオシフニ謂テ曰ク全エキベト爾ノ父及ヒ兄弟ノ目前ニ在リ國中最ト膏腴ノ地ヲ選ヒ以テ居ルベシト
 斯クイアコフハ諸子トエギベトニ移リ下エギベトノ肥美ナル牧地ゲセムニ居リフラオンノ保護ヲ受ケイオシフノ
 配慮ニヨリ萬事匱乏アルコナガリキ
 斯クテイアコフ年已ニ一百四十七歳ニ至リ死期ノ近ツク
 ナ知リ諸子及ヒ諸孫ヲ集メ福ヲ降シ且具サコ子孫ノ遭遇ヲ預言シ遂ニ安然トシテ世ヲ逝レリ諸子父ノ命ニ循ヒ其屍ヲ奉シテハナアンノ地ニ至リラヒリノ墳墓ノ傍ニ葬レリ

イアコフ死セシ後諸子ハイオシフニ行ヒシ舊惡ヲ憶ヒ己レニ報インコトヲ懼レ人ヲ遣ハシテ言ハシメテ曰ク父未タ死セザルトキ囑シテ云フ兄弟ノ罪過ヲ赦シテ之ニ報ユル勿レト今求ム願クハ我等ヲ宥セヨトイオシフ之ヲ聞キ大ニ哭ス兄弟其前ニ至リ俯伏シテ曰ク我等皆爾ノ僕タリトイオシフ之ヲ扶ケ起シテ曰ク爾等懼ルコト勿レ我レ神ノ意ニアラズンハ一モ爾等ニ行フ能ハズ昔シ爾等我ヲ害セント欲セシモ神ハ却テ善トナシ主ハ我ヲシテ大ナラシメ爾等及ヒ衆民ヲ餓死ヨリ免カレシメタリ爾等心ヲ安シテ其子女ト偕ニ我カ傍ニ居ルベシト兄弟ハイオシフノ謙遜

ニシテ憾ムルノ心ナキヲ見安然トシテ共ニエギベトニ居
レリ

イオシフ己レノ子エフレムノ子孫ヲ見享年一百十歳ニシ
テ安然トシテ此ノ世ヲ逝レリ全エギベトノ民其訃ヲ聞イ
テ流涕セザル者ナカリシト云フ

斯クテイオシフ及ヒ其兄弟ノ子孫大ニ繁殖シエギベトノ
諸王ヲシテ怖レテ懐カシムルニ至リ遂ニ大ニ窘逐ヲ受ケ
シガ神ハ之ヲ護リ之ヲ率ヰテエギベトノ地ヲ出テ父祖ニ
約セシハナアンノ地ニ歸ラシメタリト云フ

○エギベトノ聖女マリヤノ傳 十三日

第六世代ノ比バレスラナノ一修道院ニツシマト云ヘル老
翁アリケリ幼稚ノ時ヨリ世ヲ避ケ修道院ニ入リテ修士ト
爲リ勉勵シテ道ヲ修メ嚴ニ修道院ノ諸規則ヲ守リ絶エズ
禁食祈禱シタリ茲ニ數十年ヲ經テ白髮ノ老翁トナリシガ
或ル時心大ニ乱レテ獨リ思ラク地ニ在リテ誰カ能ク我が
未タ行ハザル所ノ善行ヲ爲シテ我ニ龜鑑ヲ示スノ修壬ア
ラシヤ又廣野ニ遁世スル者多シト雖豈品行ノ能ク我ニ勝
ル者アラシヤト忽神使彼レニ顯ハレテ曰ク美德ヲ修メテ
遠ク爾ノ行ニ勝ル行ヲ爲ス者アリ爾之ヲ見ント欲セバ速
ニイオルダン河ノ岸頭ニアル修道院ニ赴クベシトツシマ

之ヲ聞テ大ニ喜ヒ直ニ己レノ精舎ヲ出テ神使ノ示セシ修道院ニ至レバ修士等大ニ喜テ厚ク彼ヲ遇待シケレバマハ神使ノ示シニヨリテ此ニ來ルヲ告ケ彼等ト同居シテ神ニ奉事シ彼等ノ聖行ヲ見テ心ニ深ク之ヲ感シタリ此ノ修道院ノ修士等ハ常ニ祈禱勤勞シテ怠ラザルノミナラズ少シク食シテ貧困ニ安ンシ又外出スル者甚稀ニシテ常ニ門扉ヲ鎖シ毎年唯大齋前ノ主日ニハ空ク之ヲ開キタリ蓋シ此日ニハ修士等皆集リテ共ニ聖體機密ヲ領ケ午飯ヲ喫シ終レハ聖堂ニ上リテ祈禱ヲ献ズルカ爲メ二三ノ修士ヲ止ムルノミニテ他ノ修士等ハ皆出テマイオルダン河ノ邊

ニ到リテ互ニ別テ告ケ少許ノ食物ヲ携ヘテ四方ノ曠野ニ散シ大齋四十日間ヲ經過シ主ノ苦ヲ受ケ玉ヒシ週間ニ至リテ皆修道院ニ歸リタリ然レト曠野ニ在リテ何ヲカ爲セシヤ此事ハ互ニ相語ラズシテ唯各自ノ良心其勤行ノ証ヲ爲スノミ
斯クテ翌年ノ大齋ニ至リケレバマ修道院ノ例ニ從ヒ野ニ往カントシテ遂ニ修道院ヲ出テマイオルダン河ヲ渡リ深ク荒野ニ入り專ラ修士ノ業ヲ爲シツ、曠野ニ行吟スル
一既ニ二十日ニ及ヒ其處ニ於テ祈禱ヲ神ニ獻ズル時遙ニ人アリ立テルヲ見テ大ニ驚キタリシガ斯ク人跡ヲ絶テ最

ト寂シキ境ニ於テ人ニ遇フヲ喜ビ直チニ之ヲ呼ビタレド
 彼レ答ヘズシテ急キ逃ケ去リタリツシマ後ヨリ之ヲ追タ
 レド終ニ及フ能ハズシテ水ノ涸レタル小河ノ邊ニ至リ大
 ニ呼テ曰ク請ラクハ神ノ爲メニ暫ク止レヨト彼レ後ヲ顧
 ミテ曰クツシマヨ爾我レヲ追フヲ勿レ然レト爾我ニ福ヲ
 降サント欲セバ我ニ爾ノ外衣ヲ投ケ與ヘヨ我ハ貧キ女ナ
 リ我ガ衣ハ此ノ野ニ於テ壞尽シタルヲ已ニ久シトツシマ
 其己ガ名ヲ呼フヲ聞テ大ニ驚キ直ニ外衣ヲ脱キテ彼ニ投
 ケ與ヘケレバ婦之ヲ取リテ其身ニ纏ヒ徐ニツシマニ近ツ
 キ其足下ニ俯伏シテ曰ク爾ハ司祭ナリ先ツ我ニ福ヲ降ス

ベシトツシマ益々驚キ亦俯伏シテ曰ク否我が神靈ノ母ヨ
 我先ツ爾ニ請フベキナリ蓋シ爾ハ肉慾ヲ離レシ者ナリ爾
 ハ神ノ恩寵ヲ滿被スルヲ明カナリ我曾テ爾ニ遭ヒシヲア
 ラザレト爾已ニ我ガ名ト職トヲ知レリト婦曰ク嗚呼萬民
 テ救ハントスルノ神ハ讚美セラルベシ抑々爾ハ何ノ爲ニ
 此ニ來レルヤ蓋シ必ス聖神ノ示ニヨルナラン老翁ヨ今ハ
 リステイアコン等ハ如何ニ日ヲ送ルヤ教會ハ如何ナル景況
 ナルヤ皇帝ハ平安ナルヤ請フ我ニ告ケヨトツシマ答テ曰
 ク主ハ諸聖人ノ祈禱ニヨリテ常ニ彼等ヲ守リ玉フニヨリ
 皆平安ニシテ日ヲ送レリ我ガ母ヨ爾モ此ノ罪惡ノ世ノ爲

ニ神ニ祈レヨ」ト婦曰ク我カ罪アル婦人ノ祈禱ハ蓋シ益ナシ然レド我レ爾ノ命ニ從ハザルベカラズ願クハ爾ト偕コ祈禱セン」ト臆テ婦、手ヲ舉ケ天ヲ仰キ默祈スルヲヤ、久シクグシマ頭ヲ垂レ目ヲ閉テ其傍ニ立テ居タリシガ偶マ目ヲ開キ之ヲ見レバ奇異ナル哉聖女ハ地ヲ離レ空間ニアリテ今ヤ將コ天ニ昇ラントスルガ如シクグシマ大ニ驚キ怖レ地ニ俯伏シテ心悸ハキ意惘シク此ハ果シテ實事ナルヤ將ニ幻像ナルヤト獨リ疑ヒ惑ヒケル時聖女ノ聲ヲ聞キタリ曰ク我ハ靈物ニアラズ洗禮ノ水ヲ以テ潔ウセラレシ最ト大罪アル女ナリ」トゾシマ呼テ曰ク噫我カ母ヨ爾、我ニ爾ノ履

歴ト爾ノ行爲ヲ告ケヨ今ニシテ我レ神ガ我ヲ此ノ曠野ニ導キ玉ヒシ所以ヲ知レリ請フ爾ノ功勞ヲ我レニ告ケヨ爾、我ニ告クルモ之ヲ以テ誇ルガ爲ニ非ズ唯タ我ヲ教フルガ爲ナリ」聖女答テ曰ク我レ何ヲ以テカ誇ルヲ得ンヤ我ノ前行ヲ語ルハ我が耻ル所ナリ爾若シ我が罪ノ大ナルヲ聞カバ必ス驚イテ直ニ去ラン然レド爾、我ノ救ヲ得ルヲ切ニ祈ランガ爲ニ少シモ隠サズシテ悉ク之ヲ爾ニ告ケン抑モ我レハエギベトノ生ナリ十二歳ノ時竊ニ父ノ家ヲ出テアレキサンドリヤニ至リ風俗ノ破毀セシ都ニ止マリ尤モ醜行ヲ極メ十七歳ノ時ニ至リ全都我カ行ヲ知ラザル者ナク我

レ益々慾ヲ縦マヽニシテ多クノ星霜ヲ送リタリ節、恰モ穢
 ノ時ナリシガ多クノ人ノ海濱ニ走リ行クヲ見テ其故ヲ問
 ヒシニ聖架祭ノ爲ニイエルサリムニ至ルナリト答ヘシカ
 バ我モ直ニ之ニ追行シテ共ニ船ニ乗リシガ船中人ノ多キ
 ナ見テ大ニ喜ヒ嬉戯笑謔シテ衆人ヲ誘ヒ罪ニ陷レ恙ナシ
 遙ケキ海路ヲ渡航シテ陸ニ上リ衆人ト共ニイエルサリム
 ノ聖堂ニ至リタリ參拜ノ人々群ヲ爲シテ立錫ノ餘地ナク
 漸ク進ンテ聖堂ノ門ニ至リ之ニ入ラントスレド入ルコト能
 ハザリシ是レ人々ノ我ヲ止ムルニ非ラズシテ見ヘザルカ
 ノ我ヲ拒ミシナレハ強テ之ニ入ラントスレト其力ニ勝ツ

コト能ハズシテ大ニ疲レ堂傍ニ退キ壁ニ倚リテ何ノ故ニ他
 人ノ如ク我ハ聖堂ニ入ルコト能ハザルヤト考ヘシニ忽チ神
 ノ光アリテ我が心ヲ照シ我が魂ノ眼ヲ開キタリシカバ我
 レ始メテ罪惡重クシテ之ニ入ル能ハザル所以ヲ悟リ曾テ
 罪ヲ犯シ惡ヲ行ヒテ主イエイススハリストスノ誠ニ背キシ
 下チ明カニ知り全身戰慄シテ痛ク己レノ罪惡ヲ悔イ胸ヲ
 拊チ大ニ悲歎シテ血ノ涙ヲ流シタリ暫ラシテ目ヲ擧ケ
 會タマ生神女ノ聖像ノ壁上ニ掛ルヲ見タリ是ニ於テ我レ
 切ニ祈リテ曰ク至潔ナル者ヨ我罪惡實ニ深ウシテ爾ノ聖
 像ヲ見ルニ堪ザルヲ知ル然レト爾ノ子ナル世ノ救主ハ罪

人ヲ悔改ニ召サンガ爲メニ世ニ來リ玉ヘリト聞ケリ神ノ
 母ヨ願クハ我ヲ扶ケ我ニ此ノ聖堂ニ入ルノ力及ヒ救世主
 ノ苦ヲ受ケ玉ヒシ木ヲ見ルヲ得セシメ玉ヘ若シ爾我ヲ
 憐ミ此ノ願ヲ聽キ玉ハ、我レ直ニ罪惡ノ所業ヲ棄テ爾ノ
 命ズル所ニ往カント斯ク祈禱シテ我カ祈ヲ聽キ玉ヒシト
 思ヒ恐レ戰キツ、再ヒ聖堂ノ扉ニ入リシニ果シテ難ナク
 堂中ニ入ルヲ得ケレバ直ニ主ノ十字架ニ近ツキ垂泣祈
 禱シテ神ノ憐ミノ大ナルヲ悟リタリ
 後又我レ神母ノ聖像ヲ仰キ呼テ曰ク爾至潔ナル者ヨ爾大
 ナル憐ミヲ垂レ我レ有罪者ノ祈禱ヲモ退ケ玉ハズ我ヲ敢

テ見ルヲ能ハザル聖物ヲモ視セシメ玉ヘリ今ヤ我レ爾ニ
 約セシ如ク往カン願クハ爾我ヲ捨テ玉ハズ我ヲ導クノ師
 トナリテ悔改ノ道ヲ示シ玉ヘヨト祈リ畢リシ時忽遙ニ聲
 アリテ我ニ告クルヲ聞ク曰クイオルダン河ヲ渡リテ往ケ
 ヲ彼所ニ在リテ爾ノ魂慰藉セラレト我此ノ聲ヲ聞キ直
 ニ起テ路ニ上リイオルダン河ニ向テ行キシ時途上偶々人
 アリ我ニ與フルニ若干金ヲ以テセリ我レ餅店ニ入り三ノ
 餅ヲ買ヒ里程ヲ尋テ行ク三日ニシテイオルダン河岸ニ
 アル前驅イオアンノ修道院ニ至リ先ツイオルダン河ノ聖
 水ニ浴シ汚穢シタル身ヲ清メ聖堂ニ入りテ聖体機密ヲ領

ケ其日直ニイオルダン河ヲ渡リ至聖ナル生神女ニ祈リツ
 、此ノ寂漠タル曠野ニ出テタリ斯ノ如ク我レ漸ヤク魂ノ
 紛乱ト邪念ノ誘ヲ免カレ唯我等ヲ救フノ神ヲ恃ミテ此ノ
 野ニ居レリト
 グシマ之ヲ聞キ問テ曰ク爾ハ此ノ野ニ來リテヨリ幾年ナ
 ルヤ
 聖女答テ曰ク我レ聖城ヲ出テシヨリ既ニ四十七年ノ星霜
 ナ經ヌリ
 グシマ又問テ曰ク爾斯ク人跡ノ絶エタル荒原ニ在リテ如
 何ニシテ過活セシヤ且何ヲ食セシヤ

聖女答テ曰ク噫グシマヨ我カ此ノ野ニ在リテ困難セシ
 ハ如何ニ之ヲ語ルベキヤ初メ我此ノ曠野ニ來リシ時唯ニ
 個半片ノ餅ヲ携ヘタルノミ其後常ニ木ノ根ヲ食シ以テ饑
 ナ凌キタレト昔エギペトニ在リテ常ニ美食ニ飽キシヲ
 思ヒ出シテ心痛ク苦ミタリ此ノ野ニハ時々泉水ノ尽クル
 ニアリテ渴ヲ止ムルニ術ナカリケレバ我カ口ハ頻リニ先
 キニ鯨飲セシ美酒ヲ飲マント欲シ我カ舌ハ我カ意ニ反シ
 先ニ歌ヒ樂ミシ俚俗ノ歌ヲ歌ハントシテ止マザレハ我ハ
 此ノ惡弊ヲ制セントシテ大ニ疲レ地ニ倒ル、ト屢々ナリ
 シ我ガ衣モ時日ノ移ルニ隨ヒ敗レ果テ、我カ体ハ冬ハ烈

シキ寒ニ觸レ夏ハ酷キ暑ニ遭テ困ミ終日感覺ヲ失ヒ地上ニ伏シテ起ルコトニ能ハザリシ然ルニ斯ル時ニモ我ヲ苦メシハ邪念慾心ノ起レルナリ故ニ我レ地ニ伏シテ心ヲ天ニ向ケ神ニ祈リ邪念慾心ノ靜マラザル中ハ敢テ首ヲ擧ケザリシガ奇哉天ヨリ異光アリテ我ヲ照シ玉ヘバ我が邪念頓ニ靜マリテ心安ラカナルヲ覺ヘ直チニ起テ天ニ在マズ佑者ニ感謝シタリ斯ノ如ク我レ十七年ノ間ハ常ニ苦ミ艱ミタレド後ニハ大ニ慰ムヲ得タリ噫ツシマヨ爾、主ガ常ニ我が肉体ト魂トヲ守護シ玉ヒシコトヲ見ヨ實ニ主ノ言ハ我が楯ナリ故ニ我レ救ヲ得ルノ望ヲ以テ食トナセリ蓋

シ聖書ニ云ヘルアリ曰ク人生命ヲ得ル唯餅ノミナラズレト

馬太
章四節

ツシマハ聖女ガ聖書ノ言ヲ引キシヲ聞キ問テ曰ク

唯カ爾ニ聖書ヲ與ヘシヤレト

聖女答テ曰ク唯人モ此ノ荒野ニ來リテ我ニ聖書ヲ欲ヘザレト神ノ言ハ自ラ我ヲシテ之ヲ感知セシメタリ又曰クツシマヨ願クハ我レ有罪者ノ爲ニ祈リ且我カ願ヲ聽ケヨ我先ニ聖イオアンノ修道院ニ於テ聖體機密ヲ受ケシヨリ爾來未タ一度モ聖體ヲ受ケシコトナシ今切ニ願フ教主ガ其弟子ニ聖體ヲ授ケ玉ヒシ日ニ我ニ救主ハリストスノ聖體聖血ヲ領セシメヨ蓋シ明年爾ハ他ノ兄弟ト共ニハ必ス此ノ

曠野ニ來ラザルベシ故ニ爾ニ請フ明年大齋ノ大木曜日ニ
 至ラハ必ス聖体ヲ携ヘテイオルマン河ノ一村ニ來レ彼所
 ニテ我レ再ヒ爾ニ遇ハン願クハ爾此ノ願ヲ成セヨ爾今平
 安ニシテ歸ラン必ス我等二人カ此ノ曠野ニ在リテ相見シ
 ヲナ人ニ語ル勿レト言ヒ畢リ老翁ノ降福ヲ受ケテ去リタ
 リ是ニ於テグシマモ聖女ノ立チタル地ニ接吻シ主ヲ讚美
 シテ歸リタリ
 斯クテ修道院ニ歸ルベキ時期至リケレバツシマハ兄弟ト
 共ニ歸リタレト其曠野ニ在リテマリヤヲ見シトハ何人ニ
 モ告ケザリキ

斯クテ其翌年大齋ノ始ニ至リツシマ大ニ疲勞シテ聖女ノ
 預言セシ如ク他ノ兄弟ト共ニ曠野ニ往カザリシガ漸々氣
 カモ常ニ復シケレバ大木曜日ニ自ラ聖体ヲ携ヘ薄暮イオ
 ルマン河ニ至リ神ニ再ヒ彼ノ聖女ニ逢ハシメ玉ハンヲ
 祈リ待ツトヤ、久カリシガ聖女ノ影ダニ見エザレハツシ
 マ大ニ心ヲ痛メ獨リ思フニ恐ラクハ彼ノ婦ハ已ニ此所ニ
 來リ我ヲ見ズシテ歸リシナラント心頗安カラズ月ノ光リ
 ニイオルマン河ノ彼岸ヲ眺ルニ一ノ小舟モアラザリシガ
 忽遙ニ聖女ガ岸ニ向テ走り來ルヲ見タリ彼レ河岸ニ至リ
 乃止マリテ水上ニ十字架ヲ畫キ從容トシテ氷ヲ踐ミ此岸

ニ近ツキ來リケレハグシマ大ニ驚キ走リテ聖女ノ足下ニ
 俯伏セントシタリ聖女忙ツ之ヲ止メテ曰ク爾何ヲカ爲サ
 ントスルヤ思ヘヨ爾ハ司祭ニシテ爾ノ手ニハ神ノ聖ナル
 賜ヲ携フルニアラズヤト
 グシマ曰ク主ハ約セシ如ク我ヲ遣ハシ玉ヘリ凡ソ己レノ
 心ヲ潔ウセシ者ハ其行爲ヲ以テ主ノ旨ニ適フナリ光榮ハ
 我ニ我カ行ノ未タ全カラザルヲ示シ玉ヒシ神ニ歸スト
 是ニ於テ聖女跪キテ神ニ祈リ信經ト主ノ祈禱トヲ聞キ畢
 リテ直ニ聖体機密ヲ受ケ目ヲ擧ケ天ヲ仰テ曰ク主ヨ今爾
 ノ言ニ從ヒ爾ノ婢ヲ釋シ安然トシテ逝カシメヨト又グシ

マニ向テ曰ク爾ニ一ノ願アリ一年ノ後又我等カ初テ相ヒ
 逢フノ處ニ來レヨ神ノ旨ニヨリテ再ヒ彼所ニテ相ヒ見ン
 ト
 グシマハ聖女ノ別レ去ラントスル時聖女ニ與ヘンガ爲メ
 ニ修道院ヨリ携ヘ來リシ菓物ヲ出シテ之ニ與ヘタレド聖
 女ハ唯之ニ手ヲ觸レシノミニシテ食ハザリシ而シテグシ
 マト共ニ祈禱シ懇ロニ別テ告ケ再ヒイオルマン河ヲ渡リ
 テ終ニ見ヘズナリユケリ
 斯クテ一年ヲ經テグシマ修道院ノ例ニ遵ヒ又曠野ニ往キ
 初テ聖女ニ逢ヒシ所ニ至リ此所彼所ト探ルヲ漸久カリシ

ニ圖ラザリキ聖女ノ既ニ死シテ地ニ伏シタルヲ見タリ聖
女ハ恰モ祈禱ノ時ノ如ク兩手ヲ交叉シテ東方ニ向テ伏シ
居タリ

此時ツシマ聖女ノ遺言ヲ聞カザリシヲ憾ミ且其亡体ヲ葬
ルノ地ヲ求メタルニ圖ラザリキ砂上ニ書シタル遺言ヲ發
見セリ其言ニ曰ク父ツシマヨ四月十三日ニ死セシ卑賤ナ
ルマリヤノ亡体ヲ此處ニ埋メテ塵ニ歸セシメヨトツシマ
此ノ遺言ヲ見テ聖女ガ去歲聖体ヲ受ケタルノ日ニ此ノ世
ヲ逝リシヲ惜レリ實ニ降生五百三十年四月十三日ナリ今
考フルニツシマカ二十日ヲ費シテ步行セシ里程ヲ聖女ハ

僅ニ數時間ニ歩セシト見ユタリ

斯シテソシマハ涙ヲ流シ神ニ祈リツ、懇ロニ聖女ノ亡体
ヲ葬リテ後、修道院ニ歸リ他ノ修士等ニマリヤノ履歷ヲ語
リケレバ修士等ソシマノ言ニヨリ相謀リテ聖女マリヤノ
傳ヲ記シ彼ノ寢リシ日即チ四月十三日ヲ以テ之カ記念祭
ノ日ト爲シタリト云フ

○奇蹟行爲者成徳ナルテイトノ紀念 十四日

至福ナル我等ノ父聖テイトハ幼年ノ時ヨリ主ハリストス
ヲ愛シ主ノ爲ニ現世ヲ捨テ剪髮シテ修士トナリシ人ナリ
テイト常ニ祈禱勤勞ヲ事トシ少シモ惰ルコナク且謙遜無

量ナルト博愛仁慈ナルヲ以テ其名藉々タリキ而シテ萬有ノ
主神ハ己レノ忠信ナル奉事者ニ賜フニ奇蹟ヲ行フノ力ヲ
以テセリ斥像異端ノ起リシ時ノ如キハ百折不撓ノ精神ヲ
以テ堅ク真理ヲ保護シタリ後、安然トシテ魂ヲ主ニ復歸セ
リ

○聖致命者アムフアン及ヒエデシイノ紀念 同日

此ノ日第十窘逐ノ時、苦難ヲ受ケシ兄弟二人聖致命者アム
フアン及ヒエデシイノ紀念ヲ行ヘリ二人ノ父母ハ異教ノ
徒ニシテ二人ハバタラ城ニ生レシが事故アリテツェリト城
ニ長シ主ノ教ヲ學ヒテ其心、神出ナル真理ノ光ニ輝カサル

、ノ幸ヲ得タリ後ニ父ノ邑長タリシ故郷バタラニ歸ラズ
シテパレステイナノケサリヤ城ニ到リ司祭聖ハムフルノ弟
子トナリ聖洗ノ機密ヲ領ルヲ得タリ兄弟二人ハ熱心、神
ニ奉事シ聖書ヲ研究シ學術ヲ修メテ日夜惰ルヲナカリシ
カ久カラズシテ窘逐大ニ起リテ「ハリスティアコン」等ヲ苦シ
メタリ此ノ時勇敢ナル二少年ハ身ノ危キヲ願ミズ顯ハニ
已レノ信仰ヲ承認シ神ヲ讚美スルノ熱心ハ日一日ヨリモ
熾ニシテ己ガ正教ノ罵詈誶ヲ見、愛苦ニ堪ヘサ
リケリ一日パレステイナノ有司ウルワント云ヘル者偶像ニ
獻祭セントスル時、少年アムフアン忽然トシテ來リ衆人ノ

目前ニ於テ其手ヲ執リ侃々トシテ拜偶ノ愚カナルト感
 情ナキ偶像ヲ棄テ、全能ノ眞神ヲ信ズベキヲ説キ勸メ
 ケレハ有司直ニ命シテ年少ナル「ハリステイア」ヲ捕ヘ拷
 治スルヲ數日ナリシモ其心ヲ動カシ正教ヨリ背離セシム
 ルヲ能ハザリシカハ遂ニ海底ニ沈メテ之ヲ殺セリ其後、聖
 致命者ノ遺骨ハ波ノ爲ニ海岸ニ漂着シケレハ信徒之ヲ葬
 ムリタリ
 斯クテ苦難ノ功勞ハ弟エデシイニモ及ヒ遂ニ數人ノ「ハリ
 ステイア」ニト僭ニ遠流セラレテ銅壙ニ役セラレシカ正教
 ヲ堅ク守ルヲ始終一日ノ如ク此所ニ數年ヲ過キテ他ノ正

教ノ徒ナリシ同囚ノ人々ト僭ニ拷治ノ爲メアレキサント
 リヤニ護送セラレタリエギペトノ方伯カ彼等ヲ處スル
 甚殘酷無情ナリシカハエデシイ憤リニ堪ヘズ直ニ起テ方
 伯ノ前ニ進ミ其殘酷無情ナルヲ責メ且彼ヲ手撃セシカハ
 方伯酷シ少年ヲ拷治シ遂ニ海中ニ投シタリ此ノ兄弟二致
 命者ノ受難ノ狀ハ史家エウセワイガ編ミシパレステイナノ
 諸致命者ノ傳中ニ詳カナリ

○十五日

此ノ日ワイフニヤ城ミデキイ修道院ノ院長、聖ニキタヲ紀念
 セリ彼レハ幼ヨリ身ヲ獻シテ主ニ奉事シ聖行ヲ以テ著名

ナル人ナリ後、斥像異端ノ盛ナリシ時、成徳ナルニキタハ聖
 フェオドルストゥデイトニコミデヤノ聖フェオフィラクト総主教聖
 ニキホル及ヒ他ノ著名ナル表信者等ト偕ニアルミヤノ人
 ナルレオ帝ニ抗シテ堅ク正教ノ定理ヲ守リ或ハ流サレ或
 ハ放逐セラレテ千辛万苦ヲ冒シ後ニ主神ヨリ異蹟ヲ行フ
 ノ力ヲ賜ハリ遂ニ王城ノ傍ニ在リテ世ヲ逝リタリト云フ

○讚美歌ノ作者、歌人、成徳ナルイオシフノ傳 十六日

成徳ナルイオシフハ第九世代ノ初メシナリヤ島ニ生レタ
 リ其父母ハ神ノ畏ルベキヲ教ヘシ敬虔ナル人々ナリ其後
 蠻民シナリヤ島ヲ犯シケレバ全家悉ク難ヲシレナヤニ避

ケタレトイオシフ獨リソルン城ニ在リテ修道院ニ入リタ
 リ
 年少ナル修士ハ熱心ニ修道度生ノ本分ヲ尽シ銳意シテ探
 作勤務セシユヨリ衆兄弟ノ歎賞スル所トナリ靈智々慧亦
 進ミテ高尚ナルニ至リシカバ幾クナラズシテ院長ハ彼ヲ
 司祭ノ神職ニ擧ケタリ此ニ數年ヲ送リシガデカボリノ人、
 聖ジリゴリイガソルンニ遊ヒシ時始メタイオシフト相識
 リ其人トナリテ愛シ院長ニ己レト偕ニイオシフヲ王城ニ
 遣ハサントナリテ請ヒ偕ニ彼所ニ到リテ斥像異端者ヨリ迫害
 ナ受クルノハリスタイアコンシテ助ケ之ヲ堅メントセリアル

ミヤノ人レオ帝ハ聖像ヲ敬ヒ尊フ者ニ向テ窘逐ヲ起シ先
 帝コンスタンティンコフロニム及ヒイサウリヤノ人レオ帝
 ノ時ノ如ク正教ノ信徒ヲ捕縛スル_ト甚殘酷ヲ極メ己レノ
 意ニ從ハザル主教等ヲ退ケテ獄舎ニ繫キ而シテ斥像異端
 ノ徒ヲシテ其後任タラシメタリ然レトグリゴリイ、イオシ
 フノ二人ハ王城ニ在リテ恐怖ノ色ナク眞理ヲ守リ「ハリス
 テ、アコン」ヲ勸導シテ正教會ノ古傳ニ反ク_トナカテシメタ
 リ
 窘逐ノ勢、日一日ヨリ熾ナレハ聖グリゴリイハ意ヲ決シテ
 竊ニイオシフヲ羅馬ニ遣ハシ援ヲ「パーパレ」オ第三世ニ請

ハントシタリ蓋シ東西未タ分離セザルノ時ナレハナリ
 當時、政府ニテハコンスタンティノポリヲ出ツル者ヲ嚴ク查
 問シ正教信徒ノ難ヲ他方ニ避クルヲ禦キシ時ナレハイオ
 シフハ此ノ事ノ甚危険ナルヲ知ルト雖敢テ避ケズシテ其
 委任ヲ受ケ王城ヲ發足セシニ果シテイオシフノ乘リシ船、
 拔錨ヲ禁セラレイオシフ捕ハレテキープル島ノ獄舎ニ繫
 カレタリイオシフハ彼所ニ在リテ多クノ囚者ニ遇ヒ彼等
 ド偕ニ堅ク正教ヲ守リシガ彼等ノ中ニ艱難貧困ノ爲ニ落
 膽セシ者アリタレトイオシフ力ヲ尽シテ彼等ヲ慰藉シ其
 心ヲ勵マシテ憾ム_トナク神ノ旨ニ從フベキヲ勸メタリ

聖イオシフ一日同囚ノ人々ニ語リテ曰ク兄弟ヨ我等ノ爲
 ニハ何事カ神ノ聖名ノ爲メニ難ヲ受ルカ如キノ喜ハシキ
 事アラシヤ夫レ我等ノ爲ニ難ヲ受ケシ主ハリストスハ我
 等ノ鑑タリ我等必ス之ニ倣ハザルベカラズ主ハ罪ナキ
 者ナレモ己レヲ憾ム者ヲ憾ミズ己レヲ苦ムル者ニ抗抵セ
 ザリキ若シ我等ハリストスノ轆ヲ負ハントナ欲セバ則チ
 ハリストスニ循蹈シテ主ノ爲ニ苦難ヲ忍フベシ抑モ全能
 ノ神ハ異能ヲ以テ我等ヲ救ヒ得ベシ然レモ我等カ勞苦艱
 難ヲ經テ自ラ天國ノ門ヲ開クノ恩佑ノ力ヲ得ンコト望ミ
 玉ヘリ夫レ勞苦艱難ハ是レ救ヲ得ルノ道ナリト

イオシフノ行ト言トニ勵マサレシ同囚ノ人々ハ斯ク幽囚
 セラレテ遂ニ死刑ニ定メラル、モ心勇ミテ死ニ即キタリ
 斯クテ六年ノ星霜ヲ過キケルガレオ帝崩シ寤逐モ亦從テ
 止ミタリ傳ヘ云フイオシフハ帝ノ崩セシコト奇蹟行爲者
 聖ニコライニ告ケラレ而シテ奇蹟ヲ以テ獄舎ヨリ聖ニコラ
 イノ出ス所トナレリト
 斯クテイオシフハ直ニ王城ニ還リシカ哀哉聖グリゴリイ
 已ニ世ヲ逝リケレハ再會スルコト能ハサリキ是ニ於テイオ
 シフ、聖ニコライノ名ニ依テ聖堂ノ傍ニ修道院ヲ創立セシ
 カハ修士等四方ヨリ集マリ未タ幾クナラスシテ其數甚多

キチ加へ聖イオシフ其院長トナリ彼レノ明智ナル教訓ト
 博愛ナルト靈智ナルトニヨリテ俗人ヨリモ甚尊敬セラレ
 タリ
 イオシフ又聖使徒ワルフロメイノ名ニ依テ一小堂ヲ立テ
 彼ヲ紀念スルカ爲メ讚美ノ歌ヲ作ラント欲セシガ聖ワル
 フロメイノ紀念祭ノ前夜イオシフ諸聖神師ヲ讚美スルニ
 堪フルガ爲ニ睿智ヲ賜ハンコチ神ニ熱切ニ祈リシカ即夜
 使徒彼レニ顯レ聖福音書ヲ授ケテ曰ク願クハ至強ナル神
 ノ右手、福ヲ爾ニ降シ且聖神爾ニ降臨シテ爾ニ居リ而ノ爾
 ノ歌ノ全地ニ周ウセンコトナト言了リテ見エズナリヌイオ

シフ是レヨリシテ聖神ノ默示ニヨリ諸聖神師及ヒ至聖童
 女ヲ敬ヒ尊フガ爲ニ讚美ノ歌ヲ作レリ今ニ至ル迄定規ト
 稱シテ我カ正教會中ニ著シ
 斥像異端ニ眩惑セシフエオフィル帝ノ時ニ當テイオシフ又睿
 遂ヲ受ケ堅ク正教ノ定理ヲ守リシ故ヘルソソニ遠流セラ
 レ帝ノ崩スル迄配所ニ居リ次帝フエオドル帝ノ時ニ至リテ
 歸リシカ幾クモナクシテワルタノ著名ナル貴族某カ其妻
 ナ出シ親戚ノ女ヲ娶ラントスルニヨリ其不義ナルヲ極諫
 セシカ爲メ又放逐セラレタリ其後マゲドニヤ人ワシリイ
 帝ノ時イオシフ復タ配所ヨリ歸リ晩年ヲ衆人ノ敬愛セル

王城ニ送り年已コ老ヒテ夢コ世ヲ逝ルノ近キヲ告ケラレ
 タリ其後幾クモナクシテ果シテ床ヨリ起ツ能ハザレバ其死
 期ノ至ルヲ待チ神コ祈リテ曰ク我カ神ヨ爾コ感謝ス爾我
 チ爾ノ翼下ニ庇ヒ護ルコ因ル願クハ我カ魂ヲ護リテ終リニ
 至レ爾ハ爾ノ牧群ヲ護リ且爾ノ右手ニテ作りシ者ヲ保チ
 テ世末ニ至リ爾ノ教會ヲ助ケ之ニ安和平康ヲ賜ヘヨ我罪
 ナ爾ノ前ニ犯シ彼ノ聖神ヲ滿被シテ爾コ嘉ミセラル、者
 ノ如キ者ニ非スト雖爾ノ云ヒ尽サレヌ仁慈ヲ以テ我カ行
 爲ヲ嫌惡スルコナク我ヲ救ヒ玉ヘヨト祈リ終リテ聖休機
 密ヲ領シ集ヒ來レル人々ニ福ヲ降シ遂ニ安然トシテ魂ヲ

主ニ捧ケタリ數多ノ人民其葬リヲ送り皆彼ヲ師父ト稱シ
 救ヒニ導クノ元帥ト爲シテ其死ヲ悲哀セザル者ナカリキ
 聖イオシフカ世ヲ逝リシ日ノ同時ニ彼レノ一友室内ニ坐
 シケルカ之レニ告グルノ聲アリ曰ク爾戸ヲ出テ神ノ不可
 思議ナル機密ヲ見ヨト彼レ直ニ出テ天ヲ仰ケバ異光アリ
 テ中天ニ輝キ而ノ至聖童貞生神女カ諸聖人ヲ從ヘテ地ヨ
 リ上ルノ一魂ヲ迎フルヲ見、驚キテ斯カル大ナル光榮ヲ受
 クルニ堪フル者ハ誰カ魂ナリヤト問ヒケレハ曰ク聖神ノ
 默示ヲ受ケテ諸聖ノ光榮ヲ讚美シ其行ヒニ倣ヒシ成徳ナ
 ルイオシフノ清魂ナリト答ヘタリト云フ

○此ノ日又エギベトノ聖マリヤニ野ニ遇ヒシ彼ノ聖ツシマチ紀念セリ

○聖致命者輔祭アガフオポード及ヒ讀經者フエオドルノ苦難十七日

テイオクリティアン及ヒマクシミアンニ帝ノ時クレチヤ國ノ一都會フエツサロニカ即チソルン城ニアガフオポードト云ヘル老人トフエオドルト喚ヘル少年ノ聖役者アリ此ノ老人ハ輔祭ニシテ少年ハ讀經者ナリ彼レ等二人ハ廉潔善良ニシテ万事神ニ依頼シ神ハ其仁慈ニヨリテフエオドルニ奇蹟ヲ行フノ力ヲ賜ヒケレバ諸病ニ惱メル人々ヲ愈ヤシ許多ノ

異教人ヲ主ハリストスニ歸セシメタリ

此ノ時窘逐俄ニ起リソルン城ヲ始メトシテ羅馬帝國版圖ノ邑城ニ人皆偶像ヲ拜スベキノ命令下リ之ニ違背スル者ヲ恐嚇セントシテ城内ノ街衢ニ諸々ノ刑具ヲ羅列セシ故信者ノ中、或ハ竊ニ難チ城外ニ避ケテ窘逐者ノ手ヲ免ルチ計リ或ハ苦難ヲ怖レテ正救ヲ棄ル者アリタリ然レド運命ヲ神ニ任セ安然トシテ城内ニ居ル者モ亦多カリキアガフオポード及ヒフエオドルノ二人モ城内ニ居テ斷問ナク聖堂ニ祈禱セシカバ窘逐者ハ彼等ヲ捕ヘテ獄舎ニ繋キ數日ノ後之ヲ裁判スルカ爲メ市尹フアウステインノ前ニ引キ至レリ

市尹彼等ノ至ルヲ見左右ニ侍坐スル者ヲ遠ザケ先ツフエオ
 ドルヲ召ヒ近ツケ言ヲ温ケテ曰ク少年ヨ爾ニ告ク望ムラ
 クハ爾ハハリストス教ノ迷ヲ捨テ、我等ガ古來ノ律法ヲ
 遵守セヨ然ラズンハ爾、生命ヲ失ハント
 フエオドル微笑シツ、泰然トシテ對テ曰ク我レ迷ヲ捨ル
 已ニ久シ爾反テ迷ヲ愛スルニ因テ永遠ノ死ヲ以テ罰セラ
 ル、ト近キニアラント市尹ハフエオドルノ年少ナルヲ見テ
 榮利ヲ以テ之ヲ欺キ陷イレテ正教ヲ捨テシメント思ヒ金
 銀財寶ヲ與ヘンヲ約シテ偶像ヲ祭ルヲ勸メダリシニ
 フエオドル嚴然トシテ之ニ從ハザリキ市尹ノ傍ニ立チシ神

官之ヲ見テフエオドルニ謂テ曰ク爾若シ恩賜ノ榮ニヨリテ
 心ヲ翻サレハ苦難ヲ以テ王命ニ從ハシメント
 少年答テ曰ク苦難ハ我ヲ惧ラス能ハス市尹曰ク爾且ラク
 熟思セヨ爾ハ名利榮達ヲ得テ喜ハシキ生命ヲ送ルハ苛酷
 ナル死ニ優レルヲ悟ルヲ能ハサルヤフエオドル容ヲ正ウシ
 テ曰ク生命ハ固ヨリ死ニ勝レリ豈ニ言ヲ費スニ足ランヤ
 然レモ我レ堅ク神ヲ信スレハ甘クシテ此ノ片時限リアル
 生命ヲ捨テ彼ノ限リナキ生命ト天國ノ永遠ナル福樂ヲ得
 ンヲ望ムナリ爾我ガ肉体ヲ火ニ投シ若クハ寸斷セヨ蓋
 シ肉体ハ唯、傷ツクノミ然レト朽チザル魂ハ肉体ト離レテ

永遠無究ノ生命ヲ樂マント
 市尹又問テ曰ク爾己レノ生命ヲ棄テ、得ントスル所ノ永
 遠ノ福樂ハ誰レカ爾ニ與フルヤ「フエオドル」答テ曰ク主神ト
 父ノ言ナル神ノ子「イエス」ハリストスナリ蓋シ我レ嬰兒
 タリシ時ヨリシテ主ノ十字架ニ印記セラルレハ我レ死ニ
 至ル迄是ノ號ヲ棄ル能ハズ且我レ正教ニ背カンヨリモ寧
 ロ肉休ト離レ死シテ我カ主神ノ忠義ノ僕ト爲ラント
 市尹ハ少年カ心ノ堅キニ驚キ説諭ノ益ナキヲ悟リ命シテ
 彼ヲ引キ退カシメ次テアカフォポードヲ召ヒ老人ヲモ欺陷
 セントシテ彼ニ告ケテ曰ク爾我等ノ諸神ヲ拜セヨ爾ノ親

友「フエオドル」ハ己ニ己レノ迷ヲ捨テ、我等ト偕ニ諸神ニ祭
 ヲ献センヲ約セリト

然ルニアガフォポードハ年少ナル親友ノ意中ヲ善ク知リシ
 故、其讒言ヲ信セスシテ曰ク「フエオドル」カ爲ス所ノ事ハ其如
 何ヲ論セズ我モ亦之ヲ爲サン而シ我レ彼レト與ニ喜テ眞
 神及ヒ其子「イエス」ハリストスニ献祭セン「ファウステイン」曰
 ク「フエオドル」ガ献祭ヲ爲サンヲ約セシハ爾ノ稱フル所ノ
 神ニハアラズシテ万物ヲ治ムル十二諸神ナリトアカフォポ
 ード卓然トシテ諸神ノ空虚ナルト偶像ヲ拜シテ眞ノ造物
 主及ヒ救世主ヲ識認スルヲ欲セザル者ノ無智ニシテ愚

ナルヲ証セシカバ市尹ハ彼レノ言或ハ能ク此ノ所ニ在ル者ノ心ヲ動サソヲ恐レフエオドルト共ニ再ヒ獄舎ニ下シタリ此ノ時衆人彼等ヲ送リツ、フエオドルノ年少ナルヲ憐ミテ市尹ノ命ニ從ハソヲ勸メ且アガフオボードニ謂テ曰ク老父ヨ斯、ル無智ナルヲ爲シテ利益ヲ悟ラサルハ爾ノ耻ナラズヤ」ト然レト二人ハ一言之ニ交フルヲナク黙シテ歩ヲ進メタリ

彼等二人ヲ各種ノ惡事ノ爲ニ罰セラレシ罪人等ト與ニ繋キタリシカ二人ハ全心誠意主ニ依頼シテ其受ケントスルノ運命如何ヲ願ミズ從順謙遜シテ其幽閉ヲ忍ヒタリ二人

獄舎ニ繋カル、初ノ夜主ハ奇夢ヲ賜フテ彼等ヲ鞏固シケレバ彼等寤メ起キ跪キテ一心主ニ祈リ而シ其心充滿セル愛ト感謝ノ情トヲ以テ溢レタリ二人高聲ニ呼テ曰ク神造物主萬有ノ造者ヤ此ノ世界ヲ造リ天ヲ堅メ日ヲ以テ晝ヲ照シ月ト星トヲ以テ夜ノ暗キヲ散スルヲ命スルノ神ヤ諸獸ニ生命ヲ與ヘ水中ニ魚類ヲ盈テ空中ニ諸鳥ヲ滿タシ地ニ植物ヲ發生スルカヲ與ヘ万物ヲシテ人ノ利益ニ務ムルヲ命セシ者ヤ万民ニ代リテ爾ニ感謝ス爾ハ吾人々類ノ放肆ニシテ罪ヲ犯セシ者ノ亡滅スルヲ欲セス却テ我等ノ罪惡ヲ容恕シ爾ノ限リナキ仁慈ニ依リテ在天ノ寶座ヨリ爾ノ

獨一子ヲ遣ハシ賜ヘリ彼レ人性ヲ受ケ不義ノ道ニ迷ヒシ者ヲ眞理ノ柵ニ歸セシメンガ爲メ吾等ノ死スベキ質ニ己レノ不死ノ質ヲ合セ賜ヘリ神ヤ爾ハ子ト俱ニ顯赫ナル奇蹟ヲ以テ全世界ニ見ハシ不虔ノ者ヲ眞理ノ光ニテ照シ玉ヘリ爾神ノ子カ父及セ聖神ト偕ニ一言ヲ以テ己ニ死シテ四日ヲ經タリシラザルヲ復活セシメ天然ノ法ト死トニ勝チ玉ヘリ爾ハ泥ヲ以テ替者ノ目ヲ開キ爾ノ衣ニ觸レシヲ以テ病ニ苦ミシ婦ヲ醫ヤシ一言ヲ以テ癡瘋者ヲ愈シ賜ヘリ主ヤ今モ亦願クハ我等ヲ眷顧シ天ヨリニルノ力ヲ以テ我等ヲ鞏固シ我等カ爾ノ佑助ニヨリテ苦難ヲ耐ヘ忍ヒ天

國ニ入ルヲ得セシメ玉ヘヨト

此ノ祈禱ニヨリ同ク繫カレシ罪人等モ大ニ感動シ正教ノ徒タル二人ノ前ニ俯伏シ痛ク自己ノ罪過ヲ悔イ永遠ノ死ヨリ救ハル、ノ道ヲ示サシヲ請ヒタリ聖致命者等ハ彼等ニ救贖ノ道ヲ説キシカバ獄舎ノ傍ニ停立セシ夥多ノ人々ハ獄舎ノ戸ヲ打チ毀リテ獄舎ニ入り且喜ヒ且感シ神ノ僕等ノ口ヨリ出ルノ福音ノ言ヲ聞キ居タリ典獄之ヲ知り直ニ市尹ニ其爲タイクラフ体ヲ注進シ且曰ク若シ速ニ之ヲ處治スルノ法ヲ設ケスンハ民皆ハリスタイアアイアニ等ガ傳フル所ノ神ヲ信スベシト即日市尹ハアガフオボード及ヒ

フニオドゥルヲ引致シ王ノ名ヲ以テ彼等ニ諸神ニ祭ヲ献ズル
 一ヲ勸メシカド「ハリスタイアニン」等ガ心ノ堅固ナルヲ舊ノ
 如クニシテ些シモ其勸メヲ聽カザリケレハフアウステインハフエ
 オドゥルヲ鞭撻セシメタレト彼ハ主イエイスハリストスノ
 聖名ヲ承認シ泰然トシテ拷治ヲ堪ヘ忍ヒタリ市尹ハ彼ヲ
 促シテ聖書ヲ没収セントナシケレハフエオドゥル之ニ答テ曰
 シ若シ爾ハ眞理ヲ悟リ己レノ迷謬ヲ免レンコトヲ望マバ我
 レ固ヨリ欣喜シテ爾ノ前ニ預言書及ヒ聖使徒等ノ書ヲ携
 ヘ來ルベシ然ルニ爾ガ姦惡ノ念ヲ懷クヲ知リツゞ如何ソ
 爾ニ神ノ賜モノヲ與フルヲ得ンヤ」ト市尹之ヲ聞テ大ニ怒

リ怖ルヘキ刑罰ヲ以テ彼ヲ嚇サントシケレバ聖致命者卓
 然トシテ曰ク爾ノ欲スル所爾悉ク之ヲ爲セ我カ肉休ハ爾
 カ權ノ中ニ在リ爾ノ意ニ任セテ之ヲ寸斷セヨ然レド聖書
 ハ其汚穢セラルヲ知ル上ハ決シテ之ヲ與フル能ハズト
 此ノ時市尹ハ致命者ヲ恐怖セシメントシテ彼ヲ刑場ニ引
 キ出サシメタリ刑者白刃ヲ以テ彼ノ頭上ニ閃メカシケレ
 ハフエオドゥル死ヲ決シ呼テ曰ク我等ノ爲メ甘ンジテ苦難ヲ
 受ケシ我等ノ主イエイスハリストスノ父ヤ我レ爾ノ恩佑
 ヲ以テ鞏固セラレ欣テ爾ノ爲ニ死センノミト云ヒ終リテ
 頭ヲ垂レタリ然レト市尹ハ敢テ彼ヲ刎首セズ蓋シ市尹ハ

唯フエオドゥルナシテ恐怖ノ念ヲ起サシメ以テ正教ニ反離セシメント欲スレバナリ然レトフエオドゥルカ毫モ刑罰ヲ怖ル、ノ色ナキヲ聞キ又己レノ前ニ引キ來ルヲ命シ先ツアガフオポードヲ詰問シテ曰ク爾ハフエオドゥルノ親戚ナルカ曰ク否我等ハ血肉ノ縁アル者ニアラス然レト同一ノ教ヲ以テ結合セラレシ者ナリ市尹曰ク爾等二人ハ同一ノ刑ヲ受ケンコト望メル者ノ如シアガフオポード曰ク亦同一ノ報ヲモ得ント欲スル也市尹曰ク爾年老ヒテ此ノ思慮ナキ少年ト同ク迷ヒ自ラ死刑ニ就クハ爾ノ耻ツベキコトニ非ズヤアガフオポード答テ曰ク我ハ決シテ迷フコトナシ蓋シ我がハ

リストスニアルノ望ハ決シテ空シキモノニ非ズ我レフエオドゥルノ堅ク己レノ信仰ヲ守リテ動かザルヲ嘆賞セリ然シテ我が年固ヨリ彼レニ長セリ故ニ必ず我が神ニ於ルノ熱信ヲ表スルモ亦彼ニ勝ルベキヲ要スルナリト此ノ時市尹フエオドゥルニ向フテ曰ク少年ヨ此ノ老人ノ言ニ惑ハサル、勿レ思慮ナクシテ死ニ就ク勿レ彼レノ死ヲ望ムハ怪ムニ足ラズ蓋シ彼レノ年既ニ老タレバナリ彼レノ生命ヲ永ヘルモ亦何ノ望ミカアラシ然レト爾ハ年猶少クシテ將來ノ樂ミ亦多シ然ルニ自ラ此ノ喜ハシキ生命ヲ棄ルハ抑モ何ノ故グヤ

フエオドゥル曰ク我ノ年少ナリト雖是ノ老人ト俱ニ均シク我
 カ神ニ依頼シテ主ノ爲ニ苦難ヲ受ケンヲ願フナリト是
 ニ於テ市尹ハ彼等二人ヲ縛シ又獄舎ニ下サシメタリ斯ク
 テ聖致命者等ノ知己朋友等ハ此所ニ來リテ其非運ヲ哀シ
 ミ悲嘆ノ涙ニ暮レニケリ
 フエオドゥル彼等ニ謂テ曰ク爾等何ヲ哀シヨ泣クヤ彼等曰ク
 我等ハ爾ノ不幸ヲ哀シミ泣クナリトフエオドゥル微笑シテ曰
 ク我等ヲ待チ居ル者ハ最ト勝リタル者ナルニ爾何故ニ我
 等ノ事ヲ哀ミ哭スルヤ
 斯クテフアウステインノ嚴命ニヨリテ最ト重キ鎖ヲ以テ二人

ヲ繋キ何人モ能ク訪ヒ慰ムル能ハサル内獄ニ下シタリ然
 レト人間ノ扶ケヨリ遠ザケラレテ知己朋友ヲ見ルヲ慰ミ
 ナ失ヒシ致命者等ハ其孤囚セラレ、ニ非スシテ主神カ己
 レニ依頼スル所ノ者ト常ニ俱ニ在リテ何人モ受難者ヲ慰
 藉スルヲ主ニ勝ル者アラザルヲ知リ主モ己レノ恩佑ヲ
 彼等ニ顯ハスヲ緩ウセズシテ夜中顯ハレテ其死ト其救
 贖ノ有様ト示シ玉ヘリ二人夢ニ暴レ怒レル海ヲ航セシ
 ニ波高ク船破レテ船中ノ人大ニ戰慄シ遂ニ皆海中ニ溺死
 セリ然レト二人ハ舵師ノ救導ニヨリ恙ナク岸ニ達シ而シ
 テ光アル皎衣ヲ着、山ニ登リ遂ニ天ニ達スルヲ得ルヲ見タ

リ二人覺テ後、互ニ奇夢ヲ語り切ニ祈禱シテ主ニ感謝セリ
 祈禱未ダ了ラザルニ兵士來リテ二人ヲ法庭ニ引出シ、
 ステイン種々詞ヲ設ケテ諸神ニ祭ヲ献スベキヲ勸ムレド聖
 致命者等ハ始終易ハラズシテ我等ハ「ハリステイアニ」ナレ
 バ主ノ名ノ爲ニ苦ヲ受ケントノミ答ヒシカバ市尹遂ニ二
 人ヲ死刑ニ定メ海中ニ投シテ之ヲ殺スヲ命セリ二人ノ
 知己朋友ハ諸神ニ献祭シ生命ヲ救ハンヲ頻ニ勸メタレ
 也彼等之ヲ聽カザリキ既ニシテ聖致命者ハ海中ニ投セラ
 レテ口ヲ祈リノ聲ヲ絶タスシテ魂ヲ主ニ復歸セリ後二人
 ノ屍ハ波ニ漂ハサレテ岸ニ上リケレバ知己朋友等謹テ之

ヲ葬リケリト云フ

○十八日

此ノ日我カ正教會ハ降生五百五十三年、
 時第五聖全地公會ノ議長タリシコンスタンティノール
 ノ總主教エウテイヒイヲ紀念セリ第五聖全地公會ニ於テ諸
 僞教師ノ爲ニ起リシ騒動紛議ヲ制止スルヲ能ハサルハ歎
 ズベキノ事ニゾアル皇帝ユステイアンモ一時僞教ニ迷ヒ
 シカバ總主教ハ正教ノ眞理ナル定説ヲ堅ク守リシ故ニ流
 罪ニ處セラレ配所ニ在リテ八年ノ星霜ヲ送リシガユステイ
 アン帝晩年ニ至リ己レノ迷ヒヲ痛ク悔イ嗣帝ユステイン

ニ遺命シテエウテイヒイニ総主教ノ寶座ヲ返サシメケレバ
聖表信者エウテイヒイハコンスタンタイノ一ポリニ歸リ教會
ヲ治ムルヲ四年聖行ト奇蹟ヲ行フノ力トニヨリテ其名著
ク耆老ニ至リ安然トシテ世ヲ逝リタリ

○十九日

此ノ日ミテレナノ主教表信者成徳ナルゲオルギイヲ紀念
ヒリ彼ハアルミヤノ人レオ帝ノ時聖像ヲ尊敬スルガ爲メ
難ヲ受ケ配所ヘルソン城ニ於テ遂ニ世ヲ逝リタリト云フ

○聖致命者カルリオピイノ苦難十九日

聖致命者カルリオピイハ富貴ナル紳士ノ子ニシテバムフィ

リヤ郡ペルギヤ城ニ生レタリ幼ニシテ父ヲ失ヒ母ノ膝下
ニ在リテ神ノ律法ヲ以テ教育セラレシカバ少年ノ時已ニ
正教ノ爲ニ難ヲ受ルニ堪フル者トハナレリ或ル時彼レボ
ムベオポリ城ニ在リシカ偶々異教ノ或ル祭典アリカルリ
オピイ之ヲ見人ニ問テ曰ク民ノ祝賀スルハ何ノ故ナルヤ
曰ク彼等ハ諸神ノ祭典ヲ執行スルナリ爾モ亦來リテ我等
ノ祭ニ與カルベシト
カルリオピイ曰ク否我ハ眞ノ神ヲ敬ヒ尊ヒ常ニ齋ヲ守リ
且ハリストスヲ讚スルノ詞我カ口ニアリ決シテ偶像邪神
ヲ祭ル供物ヲ食フベカラザルナリ

蓋シ異教人ハ祭ヲ諸神ニ獻ケ而シ其供物ヲ食シ且常ニ正
 教ノ徒ニ強テ之ヲ食ハシメントシタル故ナリ
 此ノ時市尹ハカルリオビイガ斯ク答ヘシヲ聞キケレハ
 直ニ少年ヲ召シ問フテ曰ク爾名ヲ何ト稱スルヤ少年曰ク
 我ハ「ハリスタニア」ニシテ名ハカルリオビイナリ
 市尹曰ク今ヤ全世界ノ人舉テ祭ヲ諸神ニ獻リテ之ヲ敬ヘ
 リ爾獨リ迷謬ニ沈ミ我等ト偕ニ之ヲ祭ルヲ欲セザルカカ
 ルリオビイ反責シテ曰ク我ハ迷フ者ニアラズ爾反テ黒暗
 ナル迷津ノ中ニ居テ天地ヲ造成セシ神ヲ棄テ人手ノ作り
 シ神魂ナキ木偶ヲ拜スルコソ實ニ迷フ者ト云フヘケレ

市尹ハ少年ヲシテ正教ヲ棄テシメント欲シ或ハ嚇シテ威
 服セシメントシ或ハ温言ヲ以テ屢々説諭スルモ皆益ナカ
 リケリカルリオビイ拷治ノ中ニアリ大呼シテ曰ク我が神
 ハリストスニ感謝ス爾我ヲシテ爾ノ聖名ノ爲ニ苦ヲ受リ
 ルニ堪フル者トナセバナリ」
 市尹曰ク爾自ラ苦難ノ辛キヲ知ラハ能ク我カ意ニ從テ故
 郷ニ歸ルノ日其財産ヲ失ハザルヲ圖レ」
 少年曰ク吾レハリスタスニ因テ將ニ受ケントスル安息ノ
 甘キヲ知ルト
 是ニ於テ市尹ハ苦難ヲ益サシメタレドハリスタスハ已レ

ノ力ヲ以テ撓ムトナク苦難ヲ耐ヘ忍フノ致命者ヲ助ケ玉
ヒシカハ次テ又獄舎ニ繫カレタリ

此ノ時カルリオビイノ母ハ家ニ居テ其子ノ運命ノ模様ヲ
聞キ直ニ財産ヲ販賣シボムベオボリニ赴キ獄卒ニ金ヲ與
ヘテ竊ニ獄中ニ入リシガ固ヨリ虔敬ノ母ナレバ其子ノ創
ヲ負ヒ殆ント死セントスルノ狀ヲ見テ大ニ其功勞ヲ嘆賞
シ神ニ感謝シテ其子ト偕ニ通夜神ニ祈禱セシガ夜中天ヨ
リ光アリテ黑暗ナル獄中ヲ照シ且聲アリテ彼等ヲ鞏固セ
リ
次朝ニ至リ聖致命者ハ又市尹ノ前ニ出タザルモ亦タ堅ク

ハリニトスヲ承認シテ屈セザレバ遂ニ十字架ニ釘ストノ
判決ヲ受ケタリ斯クテ其母ハ金貨五個ヲ刑卒ニ與ヘ其子
ヲ釘スルニ頭ヲ下ニシ之ヲ逆釘シテハリストスニ效ハザ
ラントテ請ヒタリ蓋シハリストスニ同キ刑ヲ受クルニ堪
ヘザル者トナシテ敢テ之ニ當ラザルナリ聖致命者ノ十字
架ノ上ニ死セシハ實ニ大木曜日ナリト云フ

○七十聖使徒イロテオン、アガウ、ルフ、アモン、シリト
フレゴント及ヒエルミイノ紀念 廿日

聖使徒イロテオンハキリキヤ郡タルス城ニ生レ聖使徒バ
ウエルト同郷ノ人ナリ彼レチオパトリヤノ主教ト爲リ正教

ノ爲ニイウデイヤ人及ヒ異教人ヨリ多クノ窘逐ヲ受ケシガ
 一日彼等ハ主教ヲ鞭撻シテ殆ント死ニ至ラシメタリ然レ
 ド主ノ恩寵ニヨリテ健康ニ復シ聖使徒ペートルト偕ニロ
 マニ福音ヲ傳ヘ聖使徒ペートルガ致命セシ後彼レモ亦刎
 首セラレタリ彼レノコト聖使徒パウロハ羅馬ニ達スルノ
 書(十六章一節)ニ記載セリ

聖使徒アガウハ主ヨリ預言スルノ異能ヲ受ケイウデイヤ近
 境ニ傳道セシ人ナリ使徒行實ニ曰ク時ニ先知數人アリイ
 エルサリムヨリアンテオヒヤニ至レリ中、一人名ハアガウ
 ナル者アリ聖神ニ感シ天下將ニ大ニ饑エントスト言フケ

サリシラウデイノ時ニ至リテ果シテ之アリ(七十一章自廿八節)ト

彼レ又聖使徒パウエルガイエルサリム城ニ於テ其縛セラレ
 ントスルコトヲ預言セリ(十一章一節)

グレチヤ國フィワ城ノ主教聖使徒ルッコト聖使徒パウエル
 ガ羅馬ニ達スルノ書ニ載セテ曰ク安ナルコト問フ爾ハ主
 ノ撰フ所ノ者爾ノ母ハ即チ我が母ナリ(十六章一節)ト

パウエル又イルカニヤ城ノ主教聖使徒アシンスリトマラフ
 ンノ主教聖使徒フレゴントザルマトノ主教聖使徒ユルミ
 イノ事ヲモ記載セリ

凡ソ此ノ聖使徒等ハ其傳詳カナラザレモ均ク神ノ言ヲ萬

國ニ傳ヘハリストス正教ノ爲ニ苦難ヲ受ケシ人々ナリ

○聖致命者エウプシヒイノ苦難 廿一日

カッパドキヤ郡ケサリヤ城ノ人聖致命者エウプシヒイハ富
 貴ナル紳士ニシテ幼ヨリハリストス教ヲ以テ教育セラレ
 タリ壯年ニ至リテ妻ヲ娶リシガ其婚宴ノ夕ハ偶々異教ノ
 邪神ホルトツナノ祭日ニ當リタリ時ノ皇帝背教者ユリアン
 ハ毎朝、親クホルトツナヲ崇拜シケレハ民亦之ニ倣フテ邪神
 ホルトツナヲ祭ルヲ甚盛ナリキエウプシヒイ婚席ニアリテ
 異教人等ノ祭ヲ獻ケントシテ群ヲ爲シ邪神ノ殿ニ往クヲ
 見、心之ヲ快トセス是ニ於テ數人ノ「ハリステイアコン」ヲ從ヘ

ホルトツナ
 ハ古ノロマ
 ノ福神ナリ

直ニ起テ邪神ノ殿ニ至リ木偶ヲ什シ殿ヲ毀テ而シテ己レ
 ノ財産ヲ悉ク貧者ニ頒與シ切ニ祈リテ聖ナル致命ノ準備
 ナ爲セリ

異教人等エウプシヒイノ所爲ヲ緩ウセス直ニ之ヲ帝ニ奏
 聞シケレハユリアン此ノ所爲ヲ聞キ總テケサリヤ人ノ正
 教ニ熱心ナルヲ知リ大ニ怒リテケサリヤ人ニ非常ノ重税
 ナ課シ以テ一郡中ノ大都會タリシ美觀ヲ失ハシメント欲
 シ且毀チシ所ノ偶像ノ殿ヲ再建スルヲ命シタリ斯クテエ
 ウプシヒイハ残酷ナル拷治ヲ受ケタレド神使顯ハレテ彼
 ナ苦難ノ中ニ固メケレハ數年ノ間拷治ト配流ト耐ヘ忍

ヒ遂ニ刎首セラレタリ
其後ユリアン帝ペルシヤ人ト戦ヒ軍中ニ没シケレハ聖致
命者エウプシヒイノ毀チタル偶像ノ殿ハ再興ニ及ハザリ
シト云フ

○此ノ日又サポールガペルシヤニ王タリシ時窘逐チ受ケ
タルペルシヤノ掌院成徳ナル神品致命者ワテムチ紀念セ
リ

○諸聖致命者テレンタイ、アフリカン、マクシム、ボム
ペイ、ジノン、アレキサンドル、フェオドル及ヒ其他ノ
苦難 廿二日

此ノ日紀念セルテレンタイ等四十人ノ聖致命者ハ皆アフ
リカノ生ニシテ第三世代ニ難チ受ケシ人々ナリ當時ダイキ
イ帝詔ヲ下シ「ハリスティアノン」等チシテ諸神ニ祭チ献セシ
ムベシ」トアフリカニ達スルヤ方伯フォルトナチアン民チ會
シ令シテ曰ク若シ諸神ニ祭チ献セザル者ハ酷ク拷治シテ
死刑ニ處スヘシ」ト因テ刑具チ羅列シテ以テ此ノ令ニ従ハ
サル者チ威サントセシカ果セル哉數人ノ「ハリスティアノン」
ハ刑罰チ怖レテ諸神ニ祭チ献セシテ諾セリ然レドテレ
タイ等四十人ハ心チ決シテ主ヨリ反離センヨリハ寧ク死
スルニ若カスト爲シ相互ニ語テ曰ク兄弟ヨ審判ノ日ニ於

テ主ハリストスカ天父及ヒ聖神使ノ前ニ我等ヲ捨テ玉ハ
 サラソカ爲ニ我等モ主ハリストスヲ捨テサルベシ而シテ
 主カ身ヲ殺シテ魂ヲ殺ス能ハサル者ハ懼ルハ、勿レ惟能
 ク身ト魂トヲ地獄ニ殺ス者ハ甚懼ルベキナリ馬太十章二十八節
 言ヒ玉ヒシヲ忘ルベカラズト

方伯ハリステイアコン等ノ言ヲ聞キ之ニ謂テ曰ク我レ知ル
 爾等ハ不智文盲ノ徒ナルヲ如何ソイウウヂヤ人ノ罪人トシ
 テ十字架ニ釘セシ所ノ者ヲ爾等ノ主神ト稱スルヲ得ンヤ
 テレンテイイ諸ノ同信者ニ代リ答テ曰ク爾若シ十字架ニ釘
 セラレシハリストスノ力ヲ知リシナラハ爾モ亦己レノ迷

ヲ捨テ之ニ奉事セシナラン蓋シ彼ハ仁慈ナル神ノ子ニシ
 テ神父ノ善意ニヨリテ地ニ降臨シ神性ヲ以テ人性ニ合セ
 吾等ノ救贖ノ爲ニ甘ンシテ十字架ニ苦ヲ受ケ玉ヘバナリ
 方伯又曰ク爾等諸神ヲ拜スヘシ然ラスンハ嚴酷ナル苦ミ
 ナ受ケテ亡ヒントテレンテイイ曰爾我等ヲ威服セント欲スル
 カ我等ハ生命ヲ施ス者ニ背キ永生ヲ捨テ木偶ヲ拜スルガ
 如キ愚ナル者ニ非ザルナリト方伯之ヲ聞イテ大ニ怒リ強
 テ偶像ノ殿ニ拘キ至ラシメ諸神ノ威徳ヲ讚揚シツ、之ニ
 伏拜スルヲ勸メタレヒテレンテイイ卓然トシテ木偶ノ盤
 ナキト生活ナキ偶像ヲ拜スル者ノ愚ナルヲ説明シケレ

方伯怒リテテレンテイ、アフリカン、マシム及ヒボムベ
 イノ四人ヲ縛シ獄舎ニ下サシメ其他ノアレキサンドル、
 ノン、フェオドル等(此ノ他姓名詳ナラス)三十六人ノ諸信者ヲ
 説諭スレトモ皆心ヲ同ウシテ己レ「ハリスティアコン」ナレハ
 木偶ヲ拜スル能ハスト答ヘケレバ酷ク之ヲ拷治シ慘酷ニ
 モ焼紅セシ鐵鞭ヲ以テ彼等ヲ撻チタリ致命者等ハ助チ主
 ニ祈リ主ノ鞏固スル所トナリ懼ルベキ諸難ヲ耐ヘ忍ヒ異
 教人ノ迷ヒヲ歎キ神ニ偶像ヲ毀タソヲ祈リケレバ主神
 ハ彼等ノ祈禱ヲ聽キ納レ奇蹟ヲ以テ忽チ偶像ヲ仆シ其殿
 ナ毀テリ方伯是ノ休徴ヲ見ルモ心尙ホ借ラズシテ悉クノ

信者等ヲ死刑ニ處シケレハ三十六人ノ致命者ハ主ヲ讃揚
 感謝シツ、刑場ニ至リテ遂ニ刎首セラレタリ
 刑終ルノ後、方伯更ニテレンテイ等四人ヲ召シ又彼等ニ諭
 セシニ彼等答テ曰ク我等ハ己レ「ハリスティアコン」タル
 丁チ告ケタリ我等望チハリストスニ屬シテ苦難ヲ懼レザ
 ル者也我等其途ニ凱旋者トナルヲ信セリト實ニ神ハ顯ハ
 ニ己レノ奉事者ヲ助ケシカバ方伯ハ何ノ拷治カ能ク彼等
 ナ反離セシムルヲ得ンヤ又獄舎ニ繫キテ飲食ヲ與ヘザレ
 卅神使顯ハレテ彼等ヲ養ヒタリ是ニ於テ方伯、鉄鈎ヲ以テ
 致命者等ノ皮肉ヲ爬搔セシメタレト主ハリストスハ己レ

ノ仁慈ヲ以テ苦ミヲ耐ヘ忍フベキノ力ヲ賜ヒシカバ方伯
更ニ彼等ヲ毒蛇毒蟲ノ充滿セル洞穴ニ投シタリ然レト彼
等ハ神ノ助ニヨリテ其害ヲ受ケザルユヘ方伯遂ニ彼等ヲ
死刑ニ處シ彼等喜テ刑場ニ至リ凱歌ヲ唱ヘツ、己レノ魂
ヲ主ニ捧ケタリ後チ虔敬ナル人々証テ諸致命者ノ屍ヲ葬
リタリト云フ

○ペルガムノ主教神品致命者聖アンティパノ苦難

廿三日

神品致命者聖アンティパノ事跡ハ神學者聖イオアン之ヲ其
默示録ニ記載セリ神ノ子カ微妙ナル現顯ヲ以テ小アジア

七教會ノ内狀ヲ示スノ時彼レ左ノ言ヲ以テペルガム會ノ
牧師ヲ謂ヒ顯ハシテ曰ク我レ爾ノ爲ス所ヲ知ル爾ノ處ル
所ハ乃チ惡魔ノ邦畿ナリ昔アンティパ我が爲ニ證ヲ作シ克
ク厥ノ忠ヲ尽シ爾ノ問ニ殺サル而モ爾猶ホ我が名ヲ尊ヒ
我が道ヲ拒マズト（默示録ニ章十三節）此ノ言ニヨリテ見ルニ當時ペ
ルガムノ主教ハ虔敬ニシテ堅ク正教ヲ守ルノ人タルヲ知
ル然レトペルガムノ民ハ放蕩無賴ニシテ拜偶ノ傾キアリ
此ノ主教ノ名ハ我等之ヲ知ルニ由ナキモ正教ノ爲ニ殺サ
レシ神品致命者アンティパノ後任タルヲ知ルベシ聖アンティ
パハ異教人ノ中ニ居リ力ヲ尽シテ頻リニ彼等ニ眞神ニ歸

セノヲ勸メ正道ヲ説キ躬自ラ善行ノ龜鑑ヲ與ヘ多人ヲ
 シテ眞ノ道ニ歸セシメタリ然レト邪教ニ沈溺セシ民ハ常
 ニ彼ヲ惡ミシカドミチア^ン帝ノ時窘逐大ニ起リシヲ以テ
 時ヲ得タリト爲シ主教ヲ捕ヘテ市尹ニ訴ヘタリ當時神官
 等ハ邪神ノ殿ノ日ニ衰ヘ來拜者ノ月ニ減シ獻賽ノ常ニ少
 キヲ歎イテ曰ク衆人カ諸神ヲ尊敬セザルニ因テ諸神震怒
 シテ彼等ヲ捨テ、城ヲ守護セズト
 市尹、ア^ンテ^イバニ問テ曰ク我聞ク爾ハ唯自ラ諸神ヲ拜セザ
 ルノミナラズ他人ヲモ導テ諸神ヲ尊バザラシムルト果シ
 テ之カ爲メニ城内大ニ困究セリ蓋シ大慈大悲ナル諸神ノ

守護ヲ失ヘハナリア^ンテ^イバ曰ク我ハ「ハリス^テア^ン」ニ
 テ僞神ヲ拜スル者ニアラズ爾等モ亦迷ヒテ棄テ悔悟シテ
 人類ヲ救ハンガ爲ニ天ヨリ降リタルハリス^トスヲ信セヨ
 彼ハ眞神ナリ蓋シ彼レ復タ來リテ万民ヲ審判シ各人ノ行
 爲ニヨリテ賞罰ヲ行ハントス^ト
 市尹曰ク是レ何等ノ新説ゾ蓋シ爾等ハ自ラ定ムル所ノ新
 法ニ從テ父祖ヨリ受ケシ古來敬神ノ法ヲ輕蔑セリ今己レ
 ノ新法ヲ棄テピラトガ罪人トシテ十字架ニ釘セシ所ノ者
 ナ神トシ尊フヲ息メ王命ニ從ヒ世ヲ安樂ニ送り民ノ尊敬
 ナ受ケヨ蓋シ爾ハ年高ウシテ自^ラ人々ノ尊敬ヲ受クベキ

者ナリト

アンテイバ答テ曰ク爾如何ナルヲチ謂フモ我ハ巳ニ年老テ
死期且夕ニ迫ルヲ以テ救贖ノ真理ヲ捨ルカ如キノ思慮ナ
キ者タル能ハズ爾聖書ノ講讀ヨリ開キシ我カ智ヲ眩ス
勿レ且爾等ノ諸木偶ヲ神トシ尊フチ息メヨ蓋シ若シ眞神
ヲ信セザレハ必ス皆亡ヒントス

異教人等是ノ言ヲ聞キ大ニ怒リ聖主教ヲ捕ヘ引テ木偶ノ
殿ニ至リ火ヲ銅牛ノ下ニ燒キ聖アンテイバヲシテ之ニ乗ラ
シメタリ主教身ニ十字架ヲ畫シ呼テ曰ク我が主イエイス
スハリストスガ世ニ秘シ玉ヒシ機密ヲ我ニ顯スノ神ヨ爾ノ

仁慈ノ深キヲ感謝ス爾我ヲシテ今爾ノ聖名ノ爲ニ苦ヲ受
ルニ堪フル者トナスヲ以テナリ爾片時限リアルノ生命ヨ
リ去ルノ我が魂ヲ受ケテ爾ノ恩寵ヲ滿被スルヲ玉ヘト主
教ハ銅牛ノ上ニ在リテ怖ルベキ苦ヲ堪ヘ忍ヒ己レニ敵ス
ル者及ヒ全世界ノ爲ニ祈リ安然トシテ靜カニ己レノ魂ヲ
主ニ捧ケタリ「ハリストスティアニン」等ハ謹テ主カ病ヲ癒スノ異
能ヲ賜ヒシアンテイバガ聖ナル不朽体ヲ保存セリト云フ

○成徳ナル女修院長アフアナシヤノ傳 廿四日

聖アフアナシヤノ父母ハエギナ島ノ貴紳ニシテ虔敬徳義ナ
ル人ナリ其幼女アフアナシヤハ幼稚ノ時ヨリ聖書ヲ學ヒ七

歳ノ時已ニ詩篇全部ヲ讀ソセリアフナシヤ屢々父母ニ己
 レヲ修道院ニ遣ハサソトテ請ヒシモ父母之ヲ許サズ漸長
 スルニ及ヒ良夫ヲ擇テ之ニ嫁セシメ結婚ノ後纔ニ十六日
 ヲ過キケルニ敵人島中ヲ犯シ人家ヲ掠奪シケレバ島民皆
 出テ、之ヲ防キシニ戰利アラズ死スル者多カリシガアフ
 ナシヤノ良人モ亦戰死シタリアフナシヤハ今ヤ素志ヲ遂
 ケント思ヒシニ敵將島中ヲ征服シ命ヲ出シテ悉クノ處女
 及ヒ寡婦ヲ兵士ニ嫁カシメケレバ遂ニ己レノ志ヲ遂クル
 能ハズシテアフナシヤモ亦嫁キタリ
 斯クテ家事繁劇ノ中ニ世ヲ送シリモアフナシヤハ少シモ

魂ノ救ヲ慮ルコトヲ惰ラス寸暇アレハ聖書ヲ學ヒ詩篇ヲ誦
 シ祈禱ヲ爲セリ加之ナラス彼レノ温和ニシテ謙遜ナルハ
 衆人ノ愛スル所トナリ一家親族モ甚彼ヲ愛シ近隣ノ人々
 其温和ニシテ善良ナルヲ賞嘆セザルハナカノリキ
 アフナシヤ家産、最ト豊カニシテ萬事ニ乏シキコトナキモ憐
 愛ノ心深キカ故、時トシテハ貧者ニ頒、チ與フルニ究乏チ來
 タスコトアリキ又アフナシヤハ喜ンテ旅客ヲ宿シ頼ルベナ
 キ者ヲ宿シ懇ニ貧シキ孤獨ヲ慰メ島中饑饉ノ時ノ如キハ
 同信者ナル正教ノ徒ヲ助ケシノミナラス其憐ヲ請フノ異
 教人ヲモ助ケ救主ノ謂ヘル當ニ憐憫ナル天父ハ如クナル

ハシ（路加六章三十六節）又彼レ日ヲ以テ夫ノ善不善ヲ照シ雨ヲ以テ夫ノ義不義者ヲ濡ス（馬太五章四十五節）トノ言ヲ記憶シテ何人ヲモ謝絶スルコトナク且唯食品ヲ與フルノミナラス凡ソ衣服等平常欠クベカラサル物ハ總テ之ヲ給セサルコトナシ又主日若クハ祭日ニハ近隣ノ人々ヲ招キ聖書ヲ讀ミ靈益ノ談話ヲ爲シテ救ノコトヲ慮レリ

アフアナシヤハカク少壯ノ日時ヲ送リシカハ其良人モ之ニ薰陶セラレテ主ヲ信シ正教ニ歸シ遂ニ意ヲ決シテ修道院ニ入ラントシ先ツ見習修士トナリテ若干ノ星霜ヲ經、後、安然トシテ此ノ世ヲ逝リ主ニ復歸セリト云フ

良人ノ死セシ後アフアナシヤハ只管己レノ身ヲ主ニ獻フ志ヲ同ウスル虔敬ナル數婦人ト謀リ共ニ其財産ヲ悉ク貧者ニ分チ一聖翁ニ就キテ削髮シ避ク曠野ニ遁世セリアフアナシヤト俱ニ野ニ避ケシ婦人等ハアフアナシヤニ其首長トナラントシテ請ヒシカハ彼ハ其修女首タルヲ諾セシト雖己レヲ以テ諸修女ヨリ卑微ニシテ不徳ナル者トナシ一切諸修女ノ己レニ給事スルヲ許サズ且彼等ノ給事ヲ受ケザルノミナラズ共同居スルヲモ尙ホ自ラ當ラズトナセリ彼レ己レニ處スル嚴ニシテ惟餅ヲ食ヒ水ヲ飲ミ敝衣ヲ着、板上ニ臥シ往々通夜、聖書ヲ讀ミ祈禱ヲ獻ゼリ

聖アフナシヤ多クノ悲歎ヲ忍ビ姉妹ノ靈益ヲ圖リテ彼等
 ナ監理セシガ姉妹等ハ屢々其勸誘ニ背キ自儘ニシテ彼等
 憂ヘシムルヲアルモ彼ハ一言ヲモ之ヲ責メズシテ常ニ謙
 タリ安然トシテ心ヲ守ル正シカリキ
 茲ニ四年ヲ經タリケルニアフナシヤ姉妹等ヲ諭シテ俱ニ
 一老司祭ノ示セシ所ノ深靜ニシテ道ヲ脩ムルニ適當ナル
 一地ニ遷リ至聖生神女ノ名ニ依テ聖堂ヲ立テ次テ聖授洗
 イオアン及聖主教ニコライノ二聖堂ヲ造營セリ虔敬ナル
 人々ハアフナシヤノ聖行ヲ聞キ之ヲ欽慕シテ修道院及ヒ
 聖堂ノ使用品ヲ給シケレバ萬事欠乏ナク而シテ病者ハア

フナシヤノ所ニ至リ其祈禱ノ力ニヨリテ愈ルヲ得タリ
 斯ク奇蹟ヲ行ヒ病者ヲ醫スノ榮名彌々揚リケレバアフナ
 シヤ之ヲ厭ヒ其常ニ愛スル所ノ姉妹マリナ及ヒエウアラ
 シシヤノ二人ヲ伴ヒ竊ニ王城ニ至リ一ノ女修院ニ入り七
 年ノ間、道ヲ修メ人ノ悟ル所トナラザリシガアフナシヤ時
 々己レノ造リシ生神女聖堂ヲ思ヒ歎息シテ曰ク人世ノ虛
 榮ハ我ヲ彼所ヨリ逐ヒ出セリト斯クテ七年ノ後アフナシ
 ヤノ在ル所、人ノ知ル所トナリ姉妹等其舊處ニ歸ラソテ
 請ヒアフナシヤモ亦自ラ至聖神女ノ聖堂ヲ夢ミ彼所ニ往
 クベキノ命ヲ受ケタリシニヨリ遂ニ己レノ建テシ修道院

ニ歸レリ其後病ニ罹リ死ノ漸ヤク近ツクヲ悟リ十二日ノ
 間飲食ヲ絶チ斷間ナシ主ニ祈禱ヲ献シ十三日ニ及テ病彌
 々篤ク氣衰ヘテ自ラ詩篇ヲ誦スルヲ能ハザレハ姉妹等ニ
 請フテ己レニ代リテ之ヲ誦セシメタリ諸修道女來リテ彼
 レノ臥床ヲ圍ミ衆人ノ爲メニ祈禱セシメテ請ヒシカハ聖
 アフナシヤハ彼等ニ祝福シ次テマリナ及ヒエウプラクシ
 ヤノ手ヲ執リテ曰ク我等今日別レ去ルモ主ハ來世ニ於テ
 再ビ我等ヲ合セント其後、修女等ニ我カ死後モ其將ニ近カ
 ラントスル至聖生神女ノ眠リノ祭ヲ例ニ從テ行ヒ又常ノ
 如ク孤兒貧者ヲ惠ムヲ忘ル、ナカラントテ論シ且曰ク

奉神禮終リテ後我カ遺体ヲ地ニ葬レヨト言終リテ聖女再
 ヒニ姉妹ノ手ヲ執リ己レノ靈ヲ神ニ捧ケケルニ其顔光リ
 アリテ天國ノ安樂ヲ表セリ
 姉妹等大ニ哭シテ曰ク我等ノ母ハ我等ヲ捨テ逝ケリ我等
 何ノ所ニカ再ヒ我等ノ心ヲ樂マシメ我等ヲ諸善ニ導ク爾
 ノ温和ナル聲ヲ聞クヲ得ンヤ爾ノ肉体ハ既ニ我等ト俱ニ
 祈禱シ我等ト與ニ事ニ從ハザラントス主ハ爾ヲ己レノ朽
 ザル大宅ニ招ケリト聖アフナシヤノ死セシ後一年ヲ經テ
 其不朽体ヲ發見シ而シテ多クノ奇蹟之ニ行ハレタリト云
 フ

○此ノ日又聖像ヲ尊フガ爲メ難ヲ受ケシバリヤノ主教聖
ワシリイノ紀念祭ヲ行ヘリ

○廿五日

此ノ日ディオクリティアン帝ノ時致命シテ主ハリストスヲ榮
セシラオデキヤノ司祭聖致命者アルテモンノ紀念祭ヲ行
ヘリ

○ウリナニ於テ苦難ヲ受ケレ聖致命者イオアン、ア
ントニイ及ヒエウスタフイノ紀念 廿六日

ハリストス教ハ第十三世代ニ於テリトウ(方今ロシヤノ西
方諸縣)侯國ニ傳ハレリ然レト速ニ此ノ地方ニ堅立セシコ

アラズ十四世代ニ於テモ「ハリステイアノン」等ハ尙ホ火ト木
偶トチ拜スルリトウノ異教人ヨリ殘酷ナル窘逐ヲ受ケタ
リ

異教ニ熱心ナルリトウ侯ナリゲルドノ時ネシラ及ビクル
グレチト云ヘル二少年アリハリストス教ヲ信シ願洗シテ
イオアン及ヒアントニイト稱シ都府ウイルナニ在リテ國侯
ニ仕ヘリ初メ彼等ハ己レノ反正セシヲ顯サヤリシモ正
教益々其心ニ銘スルニ隨ヒ行狀自ラ變シテ主ヲ信スルノ
形跡掩ッベカラザルニ至リ國侯モ早ク彼等カ異教ノ規則
ニ從ハザルコトアルヲ見テ其故ヲ問ヒシニ彼等始メテ己

レノ「ハリスティアニ」タルヲ明コセシガナリゲルドハ彼等
 ナシテ正教ヲ捨テシメント欲スレト彼等決然之ニ從ハザ
 レハナリゲルド命シテ彼等ヲ獄舎ニ繋キタリ
 二人ハ彼等ヲシテ主ノ名ノ爲ニ苦難ヲ受ル者ト爲シ玉ヒ
 シ神ヲ讚揚感謝シツ、喜テ其宣告ヲ受ケタレト獄中ノ苦
 ミハ兄イオアレンノ堅心ヲ破リ一年ノ後弟アントニイニ隱
 シ獄卒ニ託シテ己レノ改心ヲ國侯ニ告ケシメシガハナリ
 ゲルト侯之ヲ聞イテ以爲ラク兄弟同心ナラント遂ニ二人
 ヲ赦免シテ前職ニ就カシメタリ
 斯クテイオアンハ異教ノ諸禮ニ從ヒドモ心竊ニ眞神ヲ信

シ主ニ祈リ且罪ノ赦ヲ玉ハゾコトヲ請ヒタリアントニ
 イ兄ノ偽善且二心ナルヲ賤ミ屢々兄ニ伴リ飾ルヲ戒シ
 メ而シテ誹謗強迫苦難ヲ懼レズ其信スル所ノ神ヲ顯ハニ
 承認スベキヲ主ノ誰カ我ヲ人前ニ捨ツル者ハ我モ亦之ヲ
 我が天父ノ前ニ捨テント（馬太十章三十三節）云ヒ玉フヲ引証シテ懇ニ
 兄ニ説キタルモイオアンハ斷然意ヲ決シテ速ニ弟ノ言ニ
 從テ功ヲ立ツル能ハザリシ是ニ反シテアントニイハ己
 レノ信仰ヲ隱サズ切ニハリストスノ誠命ヲ守リ異教ノ諸
 禮ヲ避ケテ從ハザレバ國侯之ヲ聞イテ再ヒアントニイヲ
 獄舎ニ繋キ而シテイオアンヲシテ己レニ仕ヘシムルヲ故

ノ如クナリキ

其後イオアンハ諸ノ「ハリスティアニン」等ニハ反教者ト呼ハ
 レ異教人ニハ其膽小ナルヲ賤メラレ且常ニ良心ニ片時限
 リアル苦難ヲ怖レテ己レノ信仰ヲ賣リシトヲ責メラル、
 其苦シミハ最甚シクシテ永ク斯カル場位ニ立ツ能ハザレ
 ハ正教會ノ司祭ヲストルノ許ニ至リ自ラ己レノ罪ヲ告ケ
 深ク悔イテ弟ト和セシメラレントヲ請ヒタリ
 ネストル因テイオアンノ意ヲアントニニ通セシコアン
 トニイ曰ク我カ兄顯ハニ己レノ信仰ヲ承認セサル以上ハ
 我レ彼ト何等ノ關係ヲモ結フ能ハズ彼レ若シ誠ニ悔イ改

メナバ己レノ「ハリスティアニン」ナルヲ公然衆ノ前ニ顯ハス
 ベシトヲストル又其言ヲ以テイチアンニ通セリ
 斯クテ數日ノ後イオアン獨リナリゲルドノ傍ニ在リシ時
 己レノ「ハリスティアニン」ナルヲ告ケ次テ異教人ノ大ニ集會
 セシ坐ニ在リテ己レノ信仰ヲ再ビ陳ベケレバ國侯大ニ怒
 リ酷ク彼ヲ鞭撻シテ苦シメタリ然レトイオアン泰然トシ
 テ苦難ヲ忍ヒハリストスヲ捨ルト肯ハザリシカバ國侯
 再ヒ彼ヲ獄舎ニ繋カシメタリアントニ再ヒ兄ニ逢フテ
 欣喜雀躍シ與ニ罪人ヲ再ビ救ノ道ニ導ビキテ之ヲ堅メ玉フ
 ノ主ニ感謝シ兄弟數年ノ間獄中ニ囚セラレ益々信仰ヲ固

メ虔敬ニ進ミタリ
 テリゲルド侯以爲ラクアントニイ微リセバイオアンチシ
 テハリストス教ニ背ガシムルヲ甚容易ナラント因テアン
 トニイチ死刑ニ定メタリアントニイ明日チ以テ刑ニ行ハル
 ベシト聞イテ通夜祈禱チ献ジ兄ニ堅ク其信仰チ守ルベキ
 チ勸メ且ツノ死期モ亦近キニ在ルチ告ケタリ明旦即チ四
 月廿六日ノ朝アントニイ喬々タル檜樹ノ幹ニ掛ラレケレバ
 異教人等ハイオアンノ所ニ至リハリストスヨリ反離スベ
 キチ諭シタレド今ヤイオアンハ自ラ堅ク正教チ守ルノ決
 心アルノミナラズ侃々トシテ己レト俱ニ獄ニ在ル人々ニ

ハリストス教チ傳ヘタリシカバ遂ニ亦死刑ニ處ヒラレ同
 シシ弟ノ死セシ檜樹ニ掛ケラレタリ
 ニ致命者ノ鑑ハ善果チ結ヘリ茲ニテリゲルド侯ニ仕ヘ
 容貌雄偉ニシテ才智優レタル少年アリニ致命者ノ爲ス所
 ル見テ大ニ悟リ司祭チストルニ就テ聖洗ノ機密チ受ケエ
 ウスタフイト稱セリ彼レ全誠意主神チ信シ堅クハリス
 トスノ誠チ守リ斷問ナク祈禱シテ嚴齋チ爲シタリ
 スクテチリゲルド侯ハエウスタフイガ異教ノ諸禮チ守ラ
 サルチ見テ大ニ怒リ彼ニ「ハリスタファコン」トナルヤ否ヤチ
 問ヒシニエウスタフイ卓然己レ「ハリスタファコン」ナルチ

答へシカバナリゲルド侯降誕ノ齋ノ時強テ彼ニ牛肉ヲ食
 ハシメント欲セシニエウスタフイ之ヲ食ハザリシ故ナリ
 ゲルド侯酷ク彼ヲ苦シメタリ然レト少年ハ堅心能ク其苦
 難ニ耐へ従容トシテ唯主ヲ讃揚感謝シケレバ異教ノ神官
 等之ヲ見テ彌々怒リ最モ苛酷ナル拷治ヲ按シ殘酷ニモ三
 日三夜ノ間彼ヲ苦メタリ見ル者或ハ彼ヲ憐ミテ涙衣襟ヲ
 濡セ厄エウスタフイ安然トシテ曰ク兄弟ヨ我ノ爲ニ哭ス
 ルヲ勿レ我カ此ノ地ノ家(肉体)ヲ離ル、ヲ悲ム勿レ此ノ家
 ハ我カ受ルノ創ニヨリテ將ニ破レントス主ハ我ニ天國ニ
 在リテ永遠尽ルナキノ室ヲ玉ハン」トナリゲルド侯ハ如何

ナル苦ミモエウスタフイノ堅心ヲ撓マス能ハザルヲ見テ
 彼ヲ死刑ニ處シ先ニ致命者ノ終焉ヲ以テ聖ニセラレシ樹
 ニ掛ケ其屍ヲ猛獸飛鳥ニ食ハシムベキヲ命ゼリ然レド數
 日ヲ經テ「ハリスティアニン」等ハ鳥獸ノ敢テ觸レザリシ屍ヲ
 樹ヨリ下シ謹テ之ヲ葬リタリ

茲ニ數十年ヲ過キリトウニ漸々正教ノ公布ゼシ時「ハリス
 ティアニン」等國侯ニ請ヒテ三致命者ノ終焉ノ地ヲ得、檜樹ノ
 在リシ所ニ至聖三者ノ聖堂ヲ建テ聖致命者ノ聖驛ヲ遷座
 セリ其後未タ幾クナラズシテモスワ城ノ府主教聖アレ
 キセイイキユウニ至リトウノ三致命者ノ紀念ヲ四月廿六

日ニ行フベキヲ定メタリ

○此ノ日正教會ハ又ロマノ「パトパ」マルティンヲ紀念セリ彼
 ハ表信者マシムト俱ニ堅ク正教ヲ守リ偽教「モノ」フェリト
 ナ拒キシ人ナリ（二月二日表信者聖マクシム傳中ニ詳ナリ）聖マルティンロマ城ニ
 地方公會ヲ開キコンスタ帝ノ保護セシ此ノ偽教ヲ「アナ」
 「マ」ニ附セシカハ帝之ヲ聞テマルティンヲ國事犯者ト爲シテ
 之ヲ捕縛セリ聖マルティンハ一年間ナクソス島ニ流サレ次
 テコンスタンティノ「イポリ」城ニ召サレ屢々偽教ノ同意者ク
 ラン「コ」ヲ促サレタレド聖「パ」ハ堅ク己レノ承認ヲ守リ
 貧困憂苦ヲ耐ヘ忍ヒ遂ニヘルソン島ニ流サレ二年ノ星霜

ヲ經テ己レノ魂ヲ主ニ復歸セリ實ニ第七世代ノ半ナリ

○ゴトノ致命者聖サウワノ苦難廿七日

第四世代ノ始メハリストス教「ド」ナイ河ノ濱リニ居ルノゴ
 ト人ニ傳播シ多クノ熱信ナル信者ヲ得タリ當時聖大致命
 者ニキ（九月廿七日ヲ參看セヨ）ト同時ニ聖サウワモ苦難ヲ受ケシガ
 ト教會ハ彼レノ身生及ビ其苦難ノ始末ヲ記シ之ヲ「カ」
 「バ」ドキヤノ教會ニ遣ハシテ信者ノ教訓トナセリ
 其記ニ曰ク我等ハ聖致命者ノ紀念ノ爲メ及ビ諸信者ノ有
 益ナルガ爲ニ聖致命者が主ノ爲ニ身ヲ捨ルノ其榮光ナル
 事業ヲ黙々ニ附スル能ハズ之ヲ詳述ス蓋シ彼レハ正直ニ

シテ神ヲ敬畏シ謙避ニシテ義ヲ守リ言語平易ニシテ意味
深ク衆ト語ルニ必ス眞ヲ以テス異教ノ徒ト交ラズ進テ善
事ヲ行ヒ堂中ニ在リテ歌ヒ聖堂ニ服勞シ富貴ヲ願ハズ(中
畧)切ニ祈禱シ齋ヲ守リ空談ヲ爲サズ衆ヲ勸メテ虔敬ナル
行爲ヲ爲サシメ主ヲ信シテ仁ヲ爲ス愛ヲ以テ行フハ信ヲ
守リ(加註太五 章六節)如何ナル時モ侃々主ノ下演テ忌ミ憚ルノ色
ナシ故ニ不虔者ノ爲ニ窘逐迫害セラレ、下其幾回ナルヲ
知ラズ云々ト

ゴトノ諸侯伯ハハリストス教ノ俄ニ傳播スルヲ見テ之ヲ
防ガント欲シ先ツ神官ヲシテ彼等ヲ誘ハシメタルニキウ
ワ自ラ之ニ從ハザルノミナラズ他ノ「ハリストニアコン」ヲモ
異教ノ禮ニ從ハザラシメタリシカバキウワヲ其居邑ヨリ
放逐セシガ後、彼ヲ赦シテ邑ニ還ラシメタリ既ニシテ又窘逐
大ニ起リ兵士邑長等諸邑城ヲ巡リテ凡ソハリストス教ヲ
承認スル者ヲ捕縛シ悉ク之ヲ裁判ニ付シテ嚴ク拷治セシ
カバ當時サウワノ居邑ノ人々ハ探偵ノ嚴ナルヲ懼レ邑中
ニ「ハリストニアコン」ヲシト郡司ニ申セント決セリ然ルニサ
ウワ之ヲ聞テ民ノ會中ニ立テ聲ヲ厲マシテ曰ク我が爲ニ
讒スル勿レ蓋シ我ハ「ハリストニアコン」ナリト是ニ於テ拜偶
者等ハ「ハリストニアコン」ナリシ同邑ノ人々ヲ救ハント欲シ

有司ノ前ニ出テ俯伏シテ曰ク邑中唯一人ノ「ハリスティア」ニ
 「アル」ノニ他ニ是レナシ」ト因テ有司命シテ之ヲ引キ至ラ
 シメシニ他人ニアラズ即チ聖サウワ其ノ人ナリキ
 有司ハ聖サウワヲ引キ來リシ者ニ問テ曰ク彼ハ富者ナル
 カト曰ク否彼レ着ル所ノ衣ノ外一モ有ルコトナシト有司之
 テ賤シテ曰ク彼レ果シテ斯ノ如キノ貧者ナレバ之ヲ救ス
 ベシ之ヲ救スモ何ノ利害得失アラシヤト遂ニ之ヲ救セ
 リ
 再設「パスバ」祭ノ前ニ至リテゴト侯ノ子アフリド不意ニサ
 ウワノ居邑ニ闖入シサウワ及ヒ虔敬ナル司祭サンサラヲ

捕ヘテ酷ク之ヲ拷治シ遂ニサウワヲ縛シテ荆棘ノ中ヲ引
 キ廻ハシ時々鞭ヲ以テ之ヲ打チシカモ流血淋漓メレハ次
 朝ニ至リ神ノ仁慈ニヨリテ悉ク癒創痕ダモ無カリケレハ寤
 逐者等ハ大ニ駭キシカ尙ホ神ノ力ヲ認ルコト能ハズシテ其
 苦ミヲ益シ慘酷ニモ夜ニ至ル迄鉄鉤ヲ以テ其体ヲ搔キ裂
 キヌリ一婦アリサウワヲ憐レミテ夜竊ニ彼ヲ刑具ヨリ解
 キシカバサウワハ遠ク逃カル、ヲ得ベシト雖猶ホ逃カレ
 ズシテ彼ノ慈婦ノ家ニ至リ家事ヲ助ケ居タリシガ次日ニ
 及ヒ再ヒ捕縛セラレタリ是ニ於テアフリド及ヒ其軍兵ハ
 サウワ及ヒ司祭ニ説キ勸メテ邪神ニ供セシ犠牲ノ肉ヲ食

ハシメントセシガ二人之ヲ肯カハサリシガハ再ヒサウツ
 ナ苦レメ遂ニ河ニ投スベキヲ命ジタリ
 聖サウツ神ヲ讚揚感謝シツ、河濱ニ至リシガ彼ヲ送ルノ
 兵士等彼ヲ憐レミテ之ヲ助ケント欲シ互ニ語リテ曰ク幸
 ニ今他人ノ之ヲ見ルナク亦國侯モ之ヲ知ラザレバ我等是
 ノ不幸ナル人ヲ援ハ、如何ントサウツ之ヲ聞テ曰ク爾等
 必ス命ノ如ク我ニ行フベシ我レ爾等カ見ザル所ノ者ヲ見
 ハ蓋シ聖ナル神使等ハ我が魂ヲ受ケンガ爲ニ上ニ立テリ
 ト頓テ河濱ニ至リ聖サウツヲ大木ニ縛リテ河中ニ投シタ
 リ是ノ如ク聖サウツハ「パスバ」ノ後第五日ニ享年三十八歳

ニシテ此ノ世ヲ逝レリ軍兵等其屍ヲ引キ揚ケ河濱ニ捨テ
 、惡獸飛鳥ノ食ト爲サントセシモ之ニ觸ル、者ナク數日
 ノ後一虔敬ナル主徒聖致命者ノ遺骨ヲ収メ己レノ故郷カッ
 パドキヤ郡ニ持歸リタリ此ノ時ゴト教會ヨリカッパドキヤ
 教會ニ聖者ノ記憶ノ書ヲ遣ハセリ其末文ニ曰ク聖致命者
 ガ榮冠ヲ戴クノ日ニ彼ヲ記憶シテ聖使徒ノ公ナル教會ノ
 諸兄弟ヲシテ心喜ヒ己レノ僕ヲ撰ブノ主ヲ讚揚センガ爲
 ニ周テク兄弟ニ告ケヨ諸聖ノ安ヲ問ハシ爾等ト共ニ窘逐
 ナ受ル爾等兄弟ノ安ヲ問フ光榮尊貴叩拜ハ己レノ仁慈ト
 人ヲ愛スルニヨリテ我等ヲ天國ニ入ラシムルヲ能クスル

者ト其獨一子及ビ聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ阿民

○此ノ日又七十使徒タリシ聖アリスタルフアイト及ビト
ロフイムヲ紀念セリアリスタルフハシリヤ洲アバメヤ城ノ
主教ニシテアイト及ビトロフイムノ二人ハ聖使徒ペイト
及ビパウエルノ同勞者タリ後、彼等三人ハ正教ノ爲メロマ城
ニ在リテ致命セリ、實ニ降生六十八年ナリト云フ

○聖致命者アガヒヤ、ピオニヤ及ビイリナノ苦難

廿八日

前卷既ニ解繫者聖アナスタシヤノ傳中ニアナスタシヤノ
師ニシテ虔敬ナルハリソゴンノコト記載セシガ如クデオ

クリティアン帝ハイタリヤノ都府アクワイレヤ城ニ在リテ老
翁ハリソゴンガ衆人ヲ勸メテハリスタス教ニ歸セシムル
ヲ聞キ彼ヲ引致シ論シテ正教ヲ棄テシメントシケルモ從
ハザレバ遂ニ死刑ニ處シタリ斯クテ其首ナキノ屍ハ數日
ノ間海岸ニ棄テ置カレシガ其程近キ所ニ住メル正教ノ司
祭ヅイル及ビアガヒヤ、ピオニヤ及ビイリナノ虔敬ナル三
少女偕ニ聖致命者ノ屍ヲ収テ之ヲ葬リタリ
其後十三日ヲ經テ彼ノ死セシハリソゴンハヅイルニ顯レ
テ曰ク爾ハ頓テ此ノ世ヲ逝リ諸聖人ト偕ニ安樂ヲ受ケン
又九日ノ後爾ノ傍ニ家居セル三女モ亦正教ヲ承認スルガ

爲ニ苦難ヲ受ゲン爾、此ノ事ヲ以テ神ノ婢アナスタシヤニ
 告ケヨ蓋シ、彼カ三女ノ一ヲ慮カリテ其將ニ受ケントスル
 死ト苦難ニ三女ヲ固メンガ爲ナリ
 斯クテアナスタシヤモ均シク示現ヲ蒙ムリ直ニ一面識モ
 ナキ司祭ノ許ニ至リ「ハリスタイアニン」ナル少女アガヒヤ、
 オニヤ、イリナノ家ヲ問ヒ直ニ其家ニ至リ徹夜靈益ノ談話
 ナ爲シハリストスノ聖名ヲ堅ク承認スベキヲ勸メ歸途先
 師ハリソゴノ墓ヲ拜シテ家ニ歸リ己レノ業ニ就キタリ
 其後數日ヲ經テ司祭ツイルハ世ヲ逝リ姉妹等ハ異教人ニ
 捕ハレ王ノ前ニ引カレタリ

王、姉妹ニ問フテ曰ク誰カ爾等ニ愚カニモ諸神ヲ賤ミ我等
 ノ律法ニ從ハザルヲ教ヘシヤ我レ爾等ヲ憐レムガ故ニ
 ハリストスヲ棄テ諸神ヲ拜スルヲ勸ム爾等我が言ニ從
 ヘハ必ス賞ヲ與ヘ且爾等ノ爲ニ富貴ナル新郎ヲ媒セン然
 ル時ハ爾等、良人ト偕ニ尊榮ヲ受ク可シト
 アガヒヤハ王ニ答テ曰ク爾國事ヲ治ムルニ必ス神ノ佐助
 ナガルベカラズ然ルニ爾反テ活神ヲ誹謗セリ然レト神ハ
 其仁慈ニヨリテ爾ノ罪惡ヲ忍ビ爾ノ悔悟スルヲ待テ玉ヘ
 リト
 王之ヲ聞キ大ニ怒リテ曰ク少女爾ハ狂人ナリト又ヒオニ

ヤニ向フテ謂フ丁始ノ如シピオニヤ王ニ答テ曰ク我が姉
 既ニ爾ノ要求ノ不義ナルヲ表セリト
 此ノ時王イリナニ向フテ曰ク爾諸神ヲ拜シ二人ノ姉ヲシ
 テ是ニ倣ハシメヨト
 少女答テ曰ク眞神ヲ知ラズシテ不信ニ沈溺セル者ハ木像
 ナ拜スベシ我等ハ之ヲ拜スル能ハスト斯クテ姉妹ハ獄舎
 ニ繋カレタリシガアナスタシヤ訪ヒ來リテ又彼等ヲ慰メ
 タリ
 聖ナル姉妹等ハマケドニヤニ護送セラレ王モ亦彼所ニ至
 リテ三女ヲ市尹ニ引キ渡シケルガ市尹モ亦彼等ヲシテ容

易ニ正教ニ反離セシムルヲ能ハザリキ此ノ時裁判長シシ
 ニイ姉妹等ヲ裁判セントシ以爲ラシ妹ノイリナハ必ス容
 易ニ我カ説ニ服スラント因テ容ヲ和ケテ妹ニ勸メシ
 ガイリナ直ニ己レノ「ハリストイアニン」ニシテ惟一ナル眞神
 ニ奉事スル事ヲ主張セシカバシシニイ彼ヲ獄舎ニ下セリ
 且二人ノ姉ヲ召喚シテ曰ク爾等ハ少女イリナニ王命ニ背
 シベキヲ教ヘリ然レド我未ダ彼ヲ罰セズシテ彼が爾等ノ
 苦ミヲ見テ王命ニ逆ヒシヲ悔ユルヲ待ツ今爾等モ王命
 ニ従フヲ肯セバ必ス赦サル、ヲ得ベシト
 姉妹曰ク我等ノ信仰ハ動カスベカラズト

裁判長曰ク爾等ハハリストス教ノ書籍ヲ有セシヤ

姉妹答テ曰ク聖書ハ我等ノ心中ニ記載セラレハリストス

ノ敵タル爾輩ノ如キ者ハ之ヲ奪フヲ能ハズト

ヤシニイ曰ク爾等自ラ甘シテ貧困ニ安ンズルハ何ノ意ア

ヤ

對テ曰ク我等ノ貧困ハ唯片時ナルノミ且我等ハ貧困ナル

ニヨリテ永遠限リナキノ安樂ヲ得ント

シシコイ曰ク爾等王命ニ從テ諸神ヲ拜スヘシ

姉妹答テ曰ク我等ハ唯一ノ神ヲ讚美シ之ニ獻祭ス固ヨリ

木偶ヲ拜スル者ニアラズ爾安ンテ我等ヲ我が主イイスス

ハリストスニ反離セシムルヲ得ンヤ左レハ爾カ地ノ王ニ
從フガ如ク我レ亦在天ノ主ノ命ニ從ハンノミ

シシニイハ二人ヲ諭スノ益ナキヲ以テ之ヲ烙殺スベキヲ
命シタリ

少女等其宣告ヲ聞キ大ニ喜ヒ呼テ曰ク主イイススハリ
トスヨ爾我等ヲ爾ノ聖名ヲ堅ク承認セル者ト爲シ玉ヘル
ヲ感謝スト既ニシテ刑吏アガヒヤ及ヒヒオニヤノ二人ヲ
火爐ノ中ニ投シケレバ二人ハ祈ノ聲ト偕ニ潔キ魂ヲ主ニ
捧ケタリ聖アナスタシヤ竊カニ火中ニ在リテ害ハレザル
ノ遺体ヲ収メテ之ヲ埋葬セリ

次日裁判長シシニイリナチ召シ之ヲ罵リ辱シメ且嚇ス
 ニ苦難ヲ以テセシガ少女泰然トシテ曰ク何人カ能ク我ニ
 在天ノ新郎ノ前ニ耻辱ヲ與フルヲ得ンヤ我ハ苦難ノ爲ニ
 天ニ於テ却テ賞ヲ得ント
 斯クテ少女ヲ城外ニ引キ出ダシ兵士等シシニイノ命ニ囚
 リテ聖イリナヲ射殺シケレバ少女地ニ什レ大ニ喜テ我カ
 福禱ナル姉妹ノ樂處ニ往カント呼ヒ終リテ遂ニ世ヲ逝リ
 タリ聖アナスタシヤ又イリナチ其姉妹ノ墓側ニ埋葬セリ
 ト云フ

○此ノ日又主ハリストスノ復活大祭ノ日ニ於テコリンブ

城ニ在リテ難ヲ受ケシ聖致命者レオニードチ紀念セリ

○ソロウェチノ奇蹟行爲者聖サウソテイイ及ヒツシマ
 ノ紀念廿九日

露國ノ北境アルファンゲールスシ縣ナル白海ノソロウェチト
 呼ヘル一孤島ニ修道院アリ成徳ノ人多シ此ノ修道院ヨリ
 出ルヲ以テ其名殊ニ著シ其此ニ至ル者ハ或ハ自ラ擇ンテ
 隱遯ノ地ト爲シ或ハ流罪ニ處セラレテ來ル者ナリ蓋シソ
 ロフエチノ修道院ハ古ヨリ規則ノ嚴正ナルヲ以テ著名ナレ
 バナリ

第十五世代ノ時首トシテ此ノ遙遠ナル無人島ニ渡リシハ

サウワライイト稱スル修士ナリ彼レ始メベロセルスクノキ
 リールノ修道院ニ居リシガ德行衆ニ優リテ兄弟ノ畏敬ス
 ル所トナリケレハ大ニ之ヲ憂ヘ之ヲ避ケンガ爲メ心ヲ決
 シテ修道院ヲ去リラドヅ湖中ワラアム嶋ニ修道院アリ修
 士等道ヲ修ル最モ嚴ナリト聞キ往テ此ニ居レリ然レトサ
 ウラテイノ德行ハワラアム修道院ニ在リテモ亦兄弟ニ嘆
 賞敬愛セラレシカハ乃チ人跡ノ絶エタル深野ニ避ント欲
 シテ竊ニ修道院ヲ去リタリ
 サウワライイ行ク々白海ノ濱ニ至リ漁夫ニ問フテ海中ニ大
 陸ヲ距ル甚遠カラズシテソロワエチ島アルヲ知レリ是ノ島

周圍百餘里、樹木森々湖水多クシテ魚族ニ富メルモ波浪高
 クシテ航路ノ不便ナルガ爲メ未ダ嘗テ永住ノ人アラズ只、
 漁夫ノ夏期ニ渡海シテ漁スルアルモ秋ノ未タ至ラザルニ
 ニ歸リ去レリサウワライイニタヒ此ノ島アルヲ聞キ切ニ其
 地ニ至ラント欲スル望ヲ起シタレト漁夫等ハ彼ヲシテ望
 チ絶タシメント欲シ毎事不便ニシテ隱遯ノ困難ナルヲ説
 イテ曰ク爾彼所ニ至リテ何ヲカ食ヒ何ヲカ衣トナサント
 スルヤ爾既ニ老衰セリ如何ゾ万事他人ノ助ケナクシテ獨
 居スルヲ得ンヤト
 老翁答テ曰ク主神ハ全能ナリ彼レ必ズ我ニ力ヲ給ヒ我ヲ

助ケン主神ハ究乏ノ者ヲ富シ飢渴ノ者ニ食ヲ賜ヘリ彼レ
 必ス我ヲシテ亡ヒシメズト聞ク者老翁ノ言ヲ謹聽スルア
 リ或ハ愚ト爲シテ之ヲ笑フナリ
 此處ニ程遠カラヌワエガ河ノ岸ニ一小堂アリ堂傍ニゲルマ
 ント名ツクル虔敬ナル修士居レリ一日サウワテイナ訪ヒ
 己レノ志ヲ告ケ談話時ヲ移シタリシガ遂ニ偕ニ閑靜ナル
 ソロワエチ島ニ往カント約シタリ是ニ於テ小舟ヲ艤シ農耕
 建築ノ諸器ト數日ヲ支フベキ食料ヲ積ミ望テ神ニ依頼シ
 テ纜ヲ解キシシニ天氣快朗ナレハ平安ニシテ島ニ達スルヲ
 得タリ陸ニ上リ行ク一里余ニシテ前面ニ湖アルヲ見ル

風景愛スベシ居テ此所ニトシ先ツ木ヲ以テ十字架ヲ作り
 テ之ヲ立テ次テ一小精舎ヲ作り日々耕耘ニ従事シ而シテ
 口ニ祈禱ノ聲ヲ絶クズ全心誠意神ヲ思念セリ
 海濱ニ居ルノ漁夫等始メ無人島ニ移住スルノ意ナカリシ
 ガ二隱士ノ移住シテ好結果ヲ得ルヲ見之ヲ妬ミテ曰クソ
 ロワエチ島ハ我等ガ居邑ノ近海ニ在リ固ヨリ我等ノ所屬ナ
 リ他人來リテ是ヲ領スルノ理ナシト一漁夫アリ全家ヲ携
 ヘテ海ヲ渡リ島ニ移リテ二隱士ノ精舎ノ近傍ニト居スレ
 ド二隱士敢テ之ヲ妨ケズ始終一ノ如ク祈禱操作ヲ爲セリ
 傳ヘ云フ休徵アリ漁夫及ヒ其家族ニ顯ハレテ大ニ彼等ヲ

驚カセリ蓋シ或ル日皎々トシテ光アル一少年彼等ニ顯ハ
 レテ曰ク神此ノ島ヲ以テ夥多ノ修士ノ住所ト定メ玉ヘリ
 爾速ニ此ノ島ヲ去ルベシト漁夫ハ神使ノ命ニ從テ島ヲ去
 リ後魚類ヲ漁スルガ爲メニ至ル者アルモ漁シ終レハ直ニ
 郷里ニ歸リ敢テ再ヒソロワチ島ニ居テ遷ス者ナカリシト
 ズ
 茲ニ數年ヲ經テゲルマンハ島ヲ去リオチーガ河ノ濱リニ
 返リケレバサウワタイ島中ニ孤棲シテ辛苦ヲ甘受セシカ
 年漸ク老イ死期ノ近ツクヲ知リ聖体機密ヲ願センガ爲ニ
 ソロワチ島ヲ去リ航海スルヲ二日ニシテ岸ニ達シ上陸シテ

ソレガ河濱ノ聖堂ニ至レリ是レゲルマンノ曾テ居リシ近傍
 ナリサウワタイハ神ノ殊恩ニヨリ聖体ヲ携ヘ出テ病者ニ
 領聖セシメントスル院正ナハナイルニ逢ヒシカバ大ニ喜
 テ神ニ我カ願フ所ノ聖体ヲ遣ハシ玉ヘルヲ感謝シナハナ
 イルモ亦曾テ屢々聞キシ高名ナル隱士ニ逢ヒタルヲ太ニ
 喜ヒタリ是ニ於テサウワタイ直ニナハナイルニ己レノ告
 解ヲ聽キ聖体機密ヲ授ケンヲ請ヒタリシコナハナイル
 之ニ謂テ曰ク聖ナル父ヨ聖堂ニ至リ彼所ニ在リテ我が還
 ルヲ待テ我レ今日病者ニ聖体ヲ授ケ明朝早ク堂ニ歸ルヘ
 シト然レトサウワタイハ死期ノ且夕ニ迫ルヲ知リ次日マ